

292
列庫
49

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5
m m

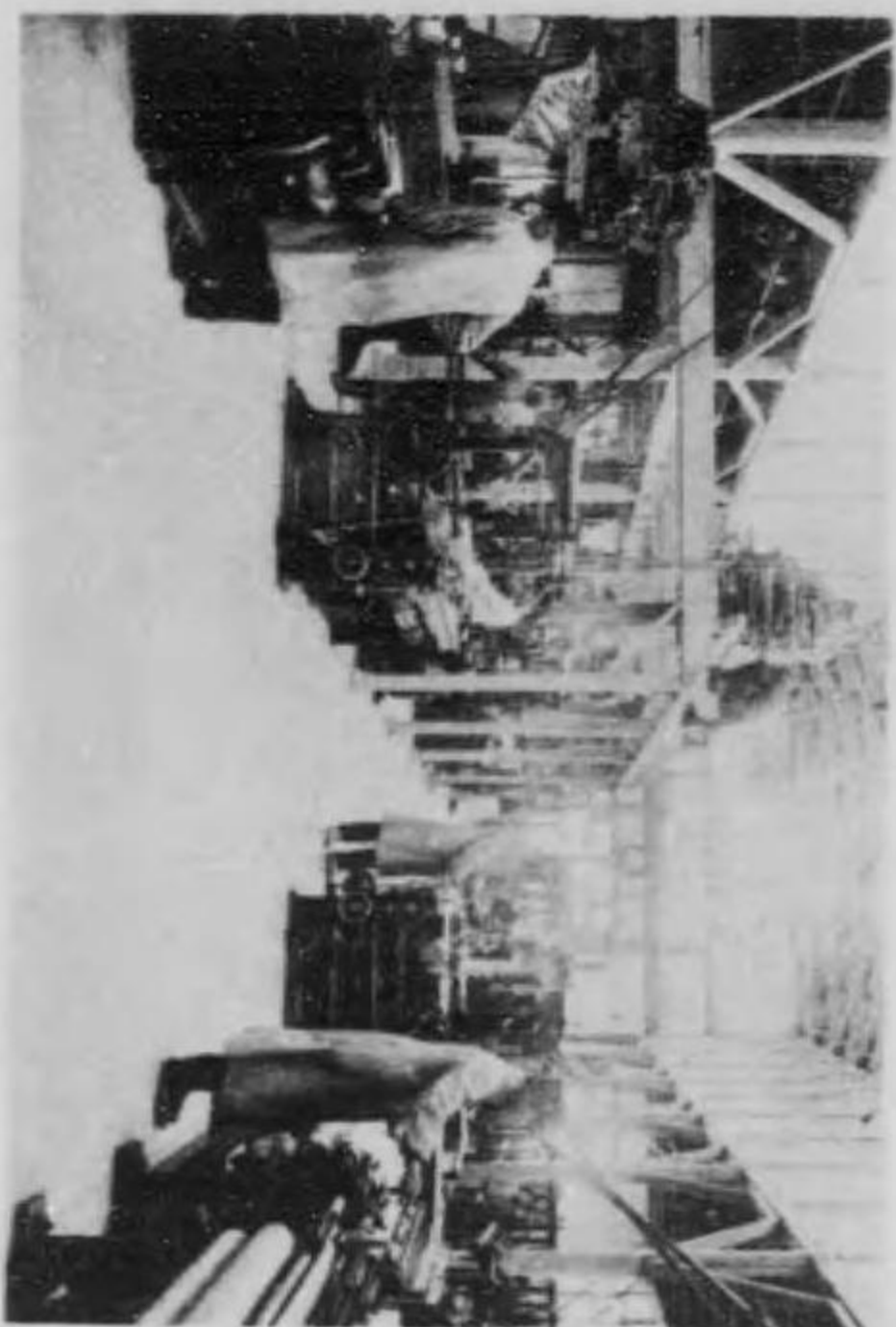
始



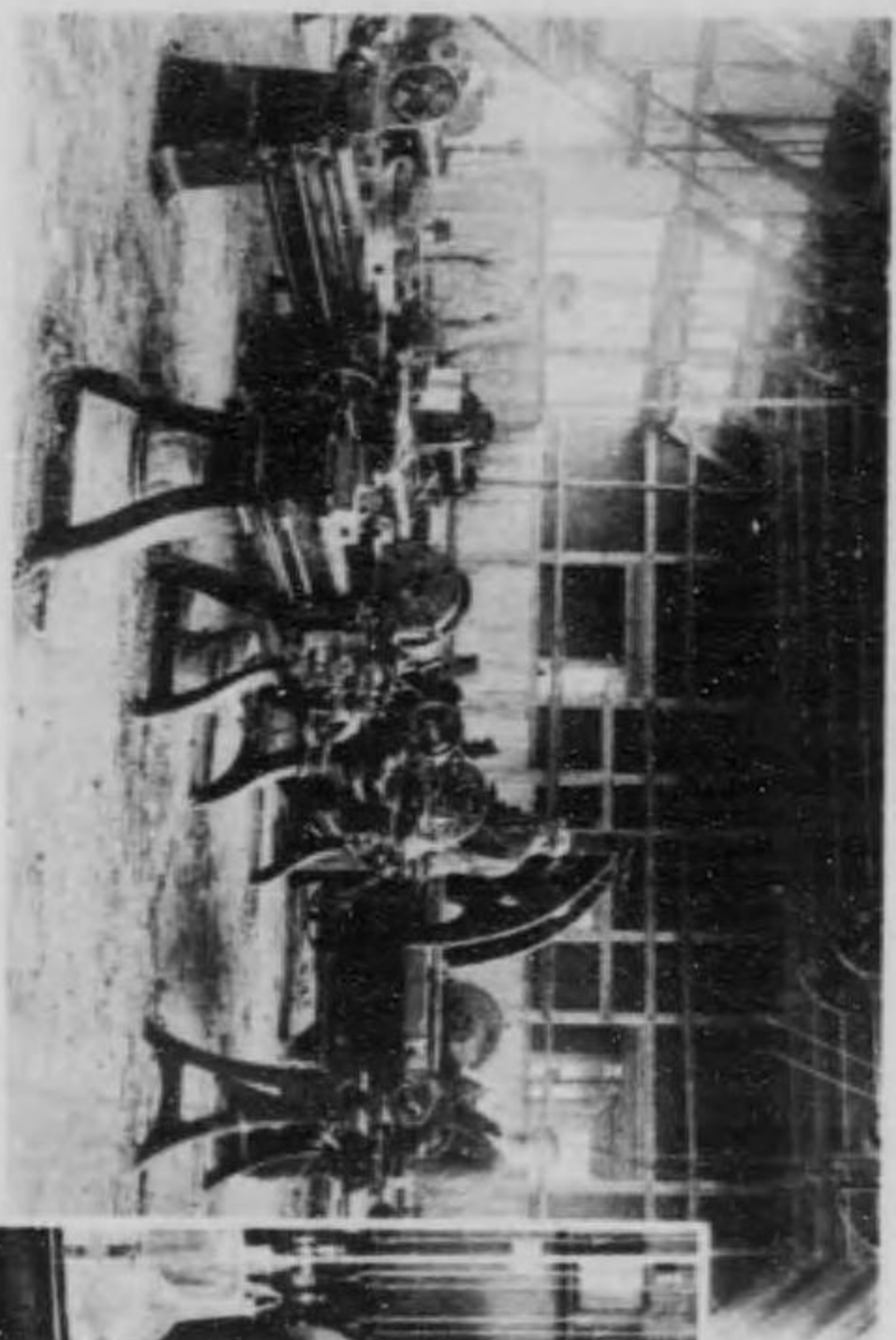
292
49

米澤高等工業學校一覽

自
大正
三年
至
大正
四年



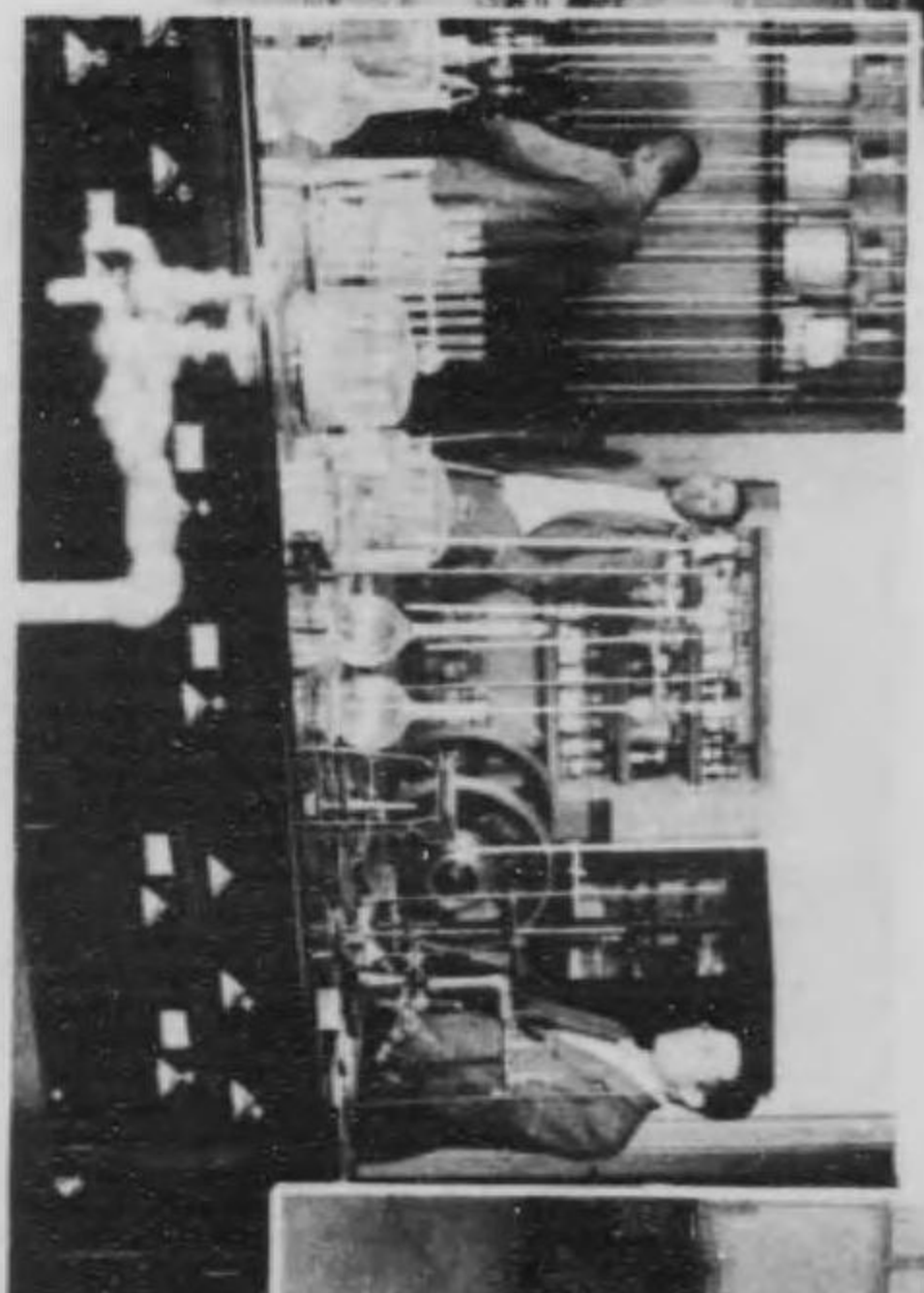
紡織工場



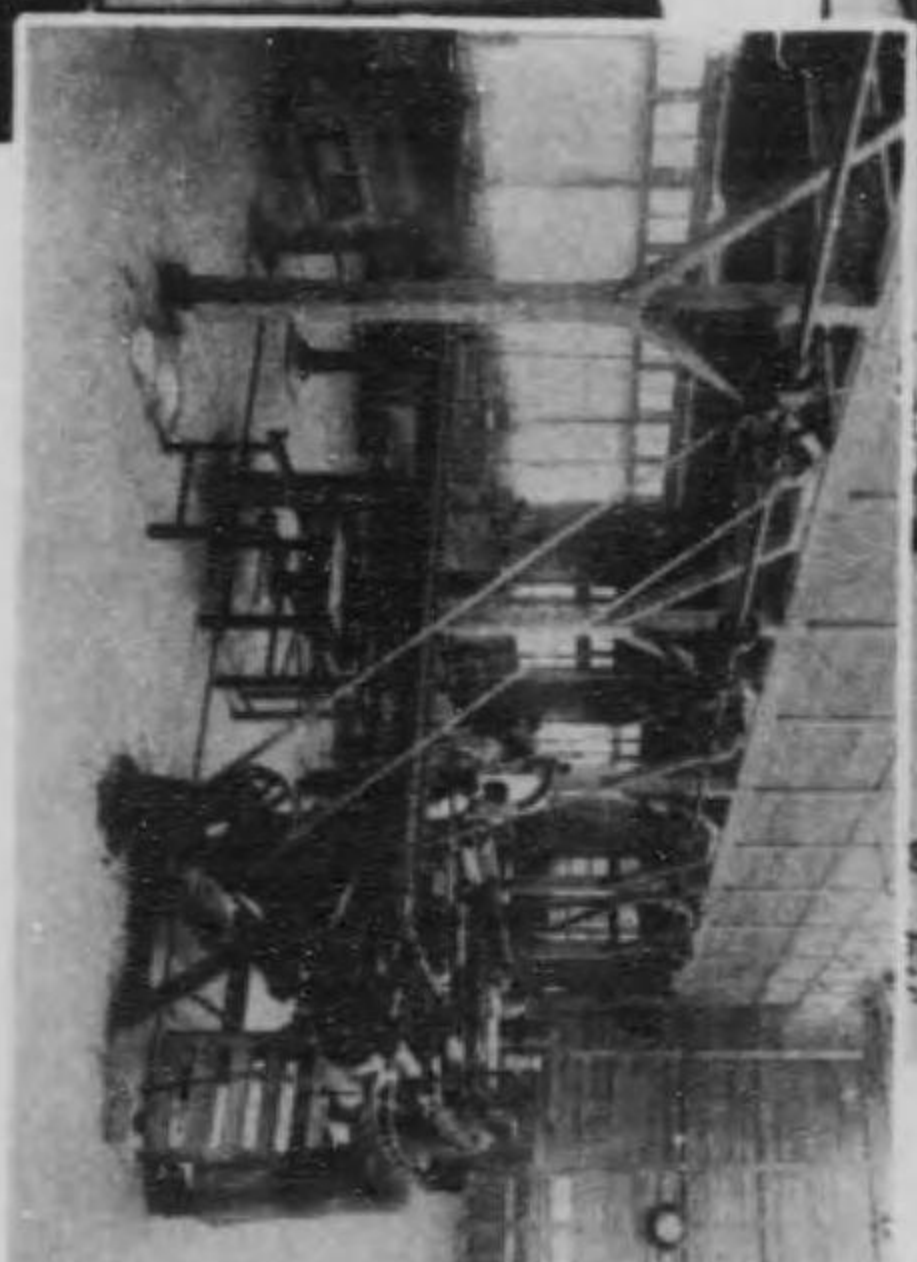
機械工場



校舍



應用化學研究室



染色工場



米澤高等工業學校一覽

目次

第一

沿革略

法令

一	文部省直轄諸學校官制	一〇
二	文部省直轄諸學校專任職員定員令	一一
三	文部省直轄諸學校教官俸給支給ニ關スル件	一二
四	文部省直轄諸學校長職務規程	一三
五	文部省直轄諸學校ノ名譽教授ニ關スル件	一四
六	雇外國人使用方	一四
七	文部省直轄學校外國人特別入學規程	一四
八	臺灣人及朝鮮人特別入學規程	一六

目次

大正
3. 9. 25
寄贈



九 專門學校令……………一六

十 實業學校令……………一七

十一 專門學校入學者檢定規程……………一七

十二 工業學校卒業者入學ニ關スル件……………一九

十三 二個以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件……………二〇

十四 文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄學校ノ入學試驗ヲ受クルノ件……………二〇

十五 東北帝國大學學力認定……………二一

十六 實業學校教員養成規程……………二一

十七 文部省直轄實業專門學校委託生規程……………二三

十八 教員免許令……………二五

十九 教員檢定ニ關スル規程……………二六

二十 教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目……………二七

二十一 公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程……………二八

二十二 公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル指定……………二九

二十三 徵兵令……………二九

二十四 徵兵事務條例……………三〇

二十五 徵兵事務條例ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規程……………三一

二十六 陸軍一年志願兵條例……………三一

二十七 陸軍一年志願兵條例施行細則……………三三

二十八 米澤高等工業學校規程……………三三

第三 學年曆……………三四

第四 規則……………三六

一 米澤高等工業學校規則……………三六

第五 教育綱領……………六五

第六 細則……………六五

目次

一 米澤高等工業學校規則施行細則.....六六

第一章 授業.....六六

第二章 學級編制.....六七

第三章 成績考查.....六八

第四章 校章及服制.....六九

第五章 授業料.....七六

第六章 寄宿舍規則.....七六

第七章 圖書標本、機械及器具.....七八

二 生徒心得.....七九

三 處務及服務規程.....八一

第一章 各教科長及理事.....八二

第二章 主任教授.....八三

第三章 教授會.....八五

第四章 教官服務規程.....八五

第七 職員

第五章 學校醫職務規程.....八九

第六章 事務分掌規程.....九〇

第七章 文書處理規程.....九六

第八章 寄宿舍例規.....九八

第九章 學業成績調查規程.....一〇六

第十章 入學試驗成績調查規程.....一一二

第十一章 物品會計細則.....一一六

第十二章 圖書取扱規程.....一二四

第十三章 委託圖書取扱規程.....一二六

第十四章 事務員服務規程.....一二七

第十五章 備人勤務規程.....一二八

第十六章 職工規程.....一三四

第十七章 非常心得.....一四四

職員.....一四七

目次

第八 生徒及卒業生

- 一 生徒數……………一五四
- 二 生徒氏名……………一五四
- 三 生徒年齡……………一五五
- 四 生徒在籍地道府縣別……………一六二
- 五 生徒出身學校別……………一六四
- 六 卒業生……………一六六
- 七 卒業者就職別……………一七三

第九 敷地建物

- 一 建物表……………一七八
- 二 配置圖……………一七八

第十 圖書

- 一 圖書類別表……………一八三

- 二 雜誌統計表……………一八五

第十一 寄贈

- 一 圖書……………一八五
- 二 標本其他……………一八九

第十二 通俗學術講演會

- 附 錄……………一九三

- 米澤高等工業學校 校友會規則……………一九三
- 校友會事務取扱規程……………一九八
- 校友會會計規程……………二〇五

目次終

米澤高等工業學校一覽

第一 沿革



- 一、明治三十九年九月十八日 山形縣知事ヨリ高等工業學校ヲ米澤市ニ設置セラレシメ、レシコトヲ文部大臣ニ上申ス
- 一、同年十月 同知事ヨリ建築費トシテ明治四十年度ヨリ四ヶ年繼續ヲ以テ拾萬圓寄附致度旨文部大臣ニ稟申ス
- 一、同四十年二月一日 米澤市長ヨリ敷地トシテ貳萬坪寄附致度旨文部大臣ニ出願ス
- 一、第二十三帝國議會ニ於テ本校創立費議決セララル其ノ金額四拾九萬六千貳百貳拾壹圓ナリ
- 一、同年四月二日 前記建築費拾萬圓及敷地貳萬坪寄附ノ件採納セラレ新設地ヲ米澤市元東馬口勞町元中馬口勞町元西馬口勞町ニ跨ル場所ニ選定セララル敷地

ノ面積ハ臺帳面壹萬九千九百九拾壹坪貳合五勺實測面積貳萬參拾四坪貳合五勺ナリ

- 一、明治四十三年三月二十六日 勅令第六拾六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ノ設置ヲ公布セララル
- 一、同年同月同日 勅令第六拾七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ノ定員ヲ定メラル
- 一、同年五月三十日 文部省視學官針塚長太郎米澤高等工業學校長事務取扱ヲ命セララル
- 一、同年五月三十一日 文部省告示第六十五號ヲ以テ本校位置ヲ米澤市元中馬口勞町トシ同年九月ヨリ授業開始ノ旨告示セララル
- 一、同年同月同日 文部省告示第六十六號ヲ以テ本校事務所ヲ文部省内ニ設置ノ旨告示セララル
- 一、同年六月一日 文部省實業學務局内ニ於テ本校事務ヲ開始ス
- 一、同年六月二十四日 文部省令第十六號ヲ以テ本校規程ヲ公布セララル

- 一、同年同月同日 本校規則制定許可セララル
- 一、同年同月二十五日 文部省告示第九十號ヲ以テ工業學校卒業生ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セララル
- 一、同年同月三十日 染織科應用化學科各二十五名(染織科色染分科十名同機織分科十五名)ノ生徒ヲ募集ス
- 一、同年同月同日 文部省視學官針塚長太郎米澤高等工業學校長事務取扱ヲ免セララル
- 一、同年同月同日 東北帝國大學農科大學教授工學博士大竹多氣米澤高等工業學校長事務取扱ヲ命セララル
- 一、同年八月二十四日 天皇陛下御眞影ヲ下賜セララル
- 一、同年同月二十五日 文部省告示第二〇四號ヲ以テ本校事務所ヲ米澤市本校内ニ移轉ノ旨告示セララル
- 一、同年同月同日 同日ヨリ四日間米澤ト東京トノ二箇所ニ於テ第一回入學試驗

及身體檢查ヲ施行ス

- 一、明治四十三年九月九日 第一回入學志願者中ヨリ應用化學科ニ二十五名染織科色染分科ニ五名同機織分科ニ十五名計四十五名ヲ選拔シ入學ヲ許可ス
- 一、同年同月十七日 授業開始ヲ十月一日ニ延期ノ件許可セララル
- 一、同年同月十九日 教育ニ關スル 御親署ノ勅語ヲ下賜セララル
- 一、同年十月一日 第一回入學式ヲ舉行シ式後直チニ授業ヲ開始ス
- 一、同年十一月七日 本校規則施行細則制定
- 一、同年十二月二十六日 明治四十四年四月入學セシムヘキ生徒染織科約三十五名染織科色染分科十五名同機織分科二十名應用化學科約二十五名ヲ募集ス
- 一、同四十四年一月十四日 本校寄宿舎トシテ借用ヲ豫約セル民有家屋北谷地小路ニ新築ノ處落成ニツキ致道館ト命名シ生徒二十五名ヲ收容ス
- 一、同年二月二十日 同日ヨリ四日間米澤ト東京トノ二箇所ニ於テ第二回入學試験及身體檢查ヲ施行ス
- 一、同年三月十日 第二回入學志願者中ヨリ應用化學科ニ二十名染織科色染分科

ニ六名同機織分科ニ十四名計四十名ヲ選拔シ四月一日ヨリ入學ヲ許可ス

- 一、同年三月三十一日 勅令第七十三號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ改正セララル
- 一、同年四月十日 第二回入學式ヲ舉行ス
- 一、同年四月十四日 本校規則中改正ノ件許可セララル
- 一、同年六月十九日 本校卒業者ハ東北帝國大學理科大學ノ入學ニ關シ高等學校大學豫科卒業者ト同等ノ學力ヲ有スル者ト認定セララル
- 一、同年八月一日 東北帝國大學農科大學教授兼特許局技師正五位勳三等工學博士大竹多氣米澤高等工業學校長ヲ命セララル(兼特許局技師如故)
- 一、同四十五年一月十五日 明治四十五年四月入學セシムヘキ生徒染織科約三十五名染織科色染分科十五名同機織分科二十名應用化學科約三十名ヲ募集ス
- 一、同年三月九日 第三回入學志願者中無試験檢定規程ニ依リ染織科色染分科ニ一名同機織分科ニ七名應用化學科ニ八名計十六名ニ對シ四月一日ヨリ無試験入學ヲ許可ス
- 一、同年三月廿四日 同日ヨリ四日間米澤ト東京トノ二箇所ニ於テ第三回入學試

驗及身體檢查ヲ施行ス

六

- 一、同四十五年四月四日 第三回入學志願者中ヨリ試験檢定ニ依リ染織科色染分科ニ八名同機織分科ニ七名應用化學科ニ十五名計三十名ヲ選抜シ四月一日ヨリ入學ヲ許可ス
- 一、同年四月十五日 第三回入學式ヲ舉行ス
- 一、同年五月廿二日 本校職工規程制定
- 一、同年五月卅日 勅令第三百三十號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ改正セラル
- 一、同年六月十三日 本校規則施行細則中改正
- 一、同年七月卅日 明治天皇崩御
- 一、同年同月同日 今上天皇陛下踐祚大正ト改元
- 一、大正元年十二月九日 大正二年四月入學セシムヘキ生徒染織科約三十五名染織科色染分科十五名同機織分科二十名應用化學科約三十名機械科約廿五名ヲ募集ス
- 一、同年十二月十四日 本校規則施行細則中改正

- 一、同二年三月八日 第四回入學志願者中無試験檢定規程ニ依リ染織科機織分科ニ一名應用化學科ニ四名機械科ニ八名計十三名ニ對シ四月一日ヨリ無試験入學ヲ許可ス

- 一、同年三月十九日 同日ヨリ四日間米澤ト東京トノ二箇所ニ於テ第四回入學試験及身體檢查ヲ施行ス

- 一、同年三月廿九日 第四回入學志願者中ヨリ試験檢定ニ依リ染織科色染分科ニ五名同機織分科ニ十三名應用化學科ニ十六名機械科ニ二十一名計五十五名ヲ選抜シ四月一日ヨリ入學ヲ許可ス

- 一、同年四月十四日 第四回入學式ヲ舉行ス
- 一、同年五月五日 本校規則中改正ノ件許可セラル
- 一、同年五月六日 文部省令第十二號ヲ以テ本校規程中改正セラル
- 一、同年六月十三日 勅令第八十三號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ改正セラル
- 一、同年六月十六日 本校職工規程中改正
- 一、同年六月廿日 本校規則施行細則中改正

- 一、同二年七月六日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行シ本科卒業生二十七名(色染科一名紡織科八名應用化學科十八名)ニ卒業證書ヲ授與ス當日文部大臣代理トシテ督學官小泉又一臨場ス
- 一、同年九月廿九日 本校開校式ヲ舉行シ文部大臣代理松浦専門學務局長臨場ス
- 一、同年十二月十二日 大正三年四月入學セシムヘキ生徒色染科約十五名紡織科約二十五名應用化學科約三十名機械科約三十名ヲ募集ス
- 一、大正三年一月廿一日 本校規則施行細則中改正
- 一、同年三月十二日 第五回入學志願者中無試驗檢定規程ニ依リ色染科ニ二名紡織科ニ二名應用化學科ニ二名機械科ニ五名計十一名ニ對シ四月一日ヨリ無試驗入學ヲ許可ス
- 一、同年三月十九日 同日ヨリ四日間米澤ト東京トノ二箇所ニ於テ第五回入學試験及ヒ身體檢査ヲ施行ス
- 一、同年三月廿三日 第二回卒業證書授與式ヲ舉行シ本科卒業生二十九名(色染科五名紡織科十名應用化學科十四名)ニ卒業證書ヲ授與ス

- 一、同年三月三十一日 第五回入學志願者中ヨリ試驗檢定ニ依リ色染科ニ三名紡織科ニ十二名應用化學科ニ十八名機械科ニ十七名計五十五名ヲ選拔シ四月一日ヨリ入學ヲ許可ス
- 一、同年四月十四日 第五回入學式ヲ舉行ス
- 一、同年四月二十七日 本校規則中改正ノ件許可セララル
- 一、同年五月五日 選科生トシテ色染科ニ二名紡織科ニ一名計三名ノ入學ヲ許可ス
- 一、同年六月二十五日 本校職工規程中改正

第二 法令

一、文部省直轄諸學校官制(抄) (明治二十六年勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ(諸學校名略ス)
 第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長
 教授
 生徒監
 助教授
 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トシ文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
 第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教授ヲ掌ル
 第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル
 第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス
 第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得
 第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校專任職員定員令(抄)

(明治四十三年勅令第六十七號、明治四十四年勅令第七十三號、明治四十五年勅令第百卅號、大正二年勅令第百八十三號ヲ以テ改正)

米澤高等工業學校

校長 一人
 教授 一六人
 助教授 九人
 書記 六人

法令 文部省直轄諸學校官制(抄) 文部省直轄諸學校專任職員定員令(抄)

三、文部省直轄諸學校教官俸給支給ニ
關スル件(抄) (明治四十三年勅令第百五十四號)

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校ヨリ給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スルコトヲ得

附則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ施行ス

四、文部省直轄諸學校校長職務規程(抄) (明治三十三年文部大臣訓令)

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大

臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

- 第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムルコト
- 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
- 第三 俸給月額四十圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 第五 教官以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
- 第六 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
- 第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト
- 第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條 前條ニ掲ケタルモノ、外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

(備考)

法 令 文部省直轄諸學校教官俸給支給ニ關スル件(抄)
文部省直轄諸學校校長職務規程(抄)

(大正二年六月文部次官通牒)

從來公務ノ爲内國各地へ出張相成候場合ニハ日數ノ如何ニ拘ラス文部大臣ノ許可ヲ經ルコトヲ要シ候處自今右出張日數七日以内ナルトキハ其ノ旨ヲ文部大臣ニ報告セラレ御決行相成差支無之候命ニ依リ此段及通牒候也

五、文部省直轄諸學校ノ名譽教授ニ

關スル件 (大正三年勅令
第百二十四號)

文部省直轄諸學校ノ教育ニ付功勞顯著ナル者ニハ文部大臣ノ奏薦ニ依リ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトヲ得

六、雇外國人使用方 (明治二十六年 勅令第九十六號)

帝國大學及文部省直轄諸學校ニ於テ學科教授ノ必要アルトキハ帝國大學總長及直轄諸學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ雇外國人ヲシテ教官ノ職務ニアタラシムルコトヲ得

七、文部省直轄學校外國人特別入學規程抄 (明治三十四年文部省令第十五號)

(明治三十四年文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添へ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限りニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料、及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

法 令 文部省直轄諸學校ノ名譽教授ニ關スル件 雇外國人使用方 文部省

直轄學校外國人特別入學規程抄

八、臺灣人及朝鮮人特別入學規程

(明治四十四年文部省令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

九、專門學校令(抄)

(明治三十六年勅令第六十二號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依ルヘシ

第二條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就キテハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第六條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並ニ豫科、研究科及別科

ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

十、實業學校令(抄)

(明治三十二年勅令第二十九號)

第一條 實業學校ハ工業、農業、商業等ノ實業ニ從事スル者ニ須要ナル教育ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校及工業補習學校トス

第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル(明治三十六年勅令第六十二號ヲ以テ追加)

十一、專門學校入學者檢定規程

(明治三十六年文部省令第十四號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ此規程ニ依リ檢定ヲ受クヘキモノトス
第二條 檢定ヲ受ケントスル者ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス

法 令 臺灣人及朝鮮人特別入學規程 專門學校令(抄) 實業學校令(抄)

- 一 年齢男子ハ滿十七年以上女子ハ滿十六年以上ナルコト
- 二 身體健全ナルコト
- 三 品行方正ナルコト
- 四 現ニ中學校若クハ高等女學校ニ在學セサルコト
- 第三條 檢定ヲ分テ試験檢定、無試験檢定ノ二トシ試験檢定ハ官立、公立ノ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ニ於テ便宜之ヲ行ヒ無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ生徒入學ノ際之ヲ行フ
- 第四條 試験檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業ノ程度トス但シ中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク
- 第五條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ニ合格シタル者ニハ試験檢定合格證書ヲ交付スヘシ
- 第六條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ニ於テハ試験檢定ノ問題、答案及成績表ハ五箇年以上保存スヘシ

第七條 官立、公立ノ中學校若クハ高等女學校ハ試験檢定手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第八條 左ニ掲クル者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 文部大臣ニ於テ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタルモノ
- 二 (明治四十一年三月十九日文部省令第十號ニ依リ削除)

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

十二、工業學校卒業生入學ニ關スル件

(明治四十三年文部省告示第九十號)

明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ米澤高等工業學校ノ入學ニ關シ中學校卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

- 一 工業學校卒業生

法 令 工業學校卒業生入學ニ關スル件

十三、二個以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ

關スル件 (明治四十三年文部省告示第二百十三號)

同一人ニシテ東京帝國大學農科大學農學實科、同林學實科、同獸醫學實科、東北帝國大學農科大學豫科、同附設農學實科、同附設土木學科、同附設林學科、同附設水産學科、東北帝國大學附屬醫學專門部、同附屬工學專門部並文部省直轄諸學校中ノ二箇以上ノ學科、專門部若ハ學校ニ入學ヲ出願シタル者ハ其最前ニ入學ヲ許可セラレタル學科、專門部若ハ學校ニ入學スヘキモノトス但シ同時ニ二個以上ノ學科、專門部若ハ學校ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ入學スヘキ學科、專門部若ハ學校ハ本人ノ選擇ニ任ス

十四、文部省直轄學校生徒他ノ文部省直轄學校ノ入學試験ヲ受クルノ件 (明治三十八年十月文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其入學試験ハ無効トス

十五、東北帝國大學學力認定 (明治四十四年六月文部省)

本校卒業者ハ東北帝國大學理科大學ノ入學ニ關シ高等學校大學豫科卒業者ト同等ノ學力ヲ有スルモノト認定セラル

十六、實業學校教員養成規程(抄) (明治三十五年文部省令第九號)

實業教育費國庫補助法第七條ニ基キ實業教員養成規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條 東京帝國大學農科大學本科若ハ實科、東北帝國大學農科大學本科、農學實科、土木工學科、林學科、水産學科、官立實業專門學校、東京美術學校、商船學校及水産講習所ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者並東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、官立實業專門學校附設商業教員養成所及官立實業專門學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ學資ヲ補給スルコトアルヘシ補給スヘキ金額ハ一箇月六圓以内トス但シ官立實業專門學校附設工業教員養成所ノ

法 令 二個以上ノ學校ニ入學許可ノ場合ニ關スル件 文部省直轄學校生徒他ノ學校教員養成規程(抄) 文部省直轄學校ノ入學試験ヲ受クルノ件 東北帝國大學學力認定 實業

成所研究生ニ補給スル學資ハ六圓ヲ超過スルコトヲ得

第二條 前條ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル年限ニ一箇年ヲ加ヘタル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第二條ノ二 學資ノ補給ヲ受ケタル者ニシテ前條ノ義務期間内ニ於テ私費ヲ以テ學校ニ入學シ若クハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若クハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第二條ノ三 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲メ任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若クハ歸朝シタルトキハ直ニ

文部大臣ニ届出ツヘシ

第三條 學資ノ補給ヲ受クル者半途ニシテ退學シ若クハ第二條ノ義務ヲ盡サ、ルトキ又ハ第二條ノ二第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若クハ留學シタルトキハ補給シタル學資ヲ償還スヘキモノトス但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第四條 第一條ノ學生生徒ノ員數及各養成所ニ募集スヘキ員數ハ毎年文部大臣之ヲ定ム

附 則

第五條 本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

十七、文部省直轄實業專門學校委託生規程

(明治四十年文部省令第二十三號)

第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

- 第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得
- 第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月十圓以上トス
- 第四條 委託生ニハ授業料ヲ徵收セス
- 第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス
- 第六條 委託生ニシテ在學中途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若クハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得
 - 一 前條ノ義務ヲ盡サ、ルトキ
 - 二 懲戒免職ニ處セラレタルトキ
 - 三 免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ
- 第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設ケタルコトヲ得

十八、教員免許令(摘要)

(明治三十三年勅令第三百三十四號)

- 第一條 特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外教員免許狀ヲ授與スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依リ免許狀ヲ有スル者ニ非サレハ教員タルコトヲ得ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ教員ニ充ツルコトヲ得
- 第三條 教員免許狀ハ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業生又ハ教員檢定ニ合格シタル者ニ文部大臣之ヲ授與ス
- 第四條 教員檢定ハ試験檢定及無試験檢定トシ教員檢定委員之ヲ行フ
- 第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教員檢定ヲ受クルコトヲ得ス
 - 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 信用若クハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シテ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付

セラレタル者

三 破産若クハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限リノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第六條 教員檢定ヲ出願スル者ハ手数料トシテ一學科目毎ニ金參圓ヲ納付スヘシ

第七條 教員檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 (以下略)

十九、教員檢定ニ關スル規程(摘要) (明治四十一年文部省令第三十二號)

第一條 教員檢定ハ受験人ノ學力、品行、身體ニツキ之ヲ行フ

第二條 (前略)無試験檢定ハ隨時之ヲ行フ

(第二項略)

第四條 檢定ヲ受ケントスル者ハ第一號書式書式略ノ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ(中略)無試験檢定ニ在リテハ地方廳若ハ當該學校ヲ經由シテ文部大臣ニ出願スヘシ

一 第二號書式書式略ノ履歷書及學業證書若ハ教員免許狀ノ寫

二 第三號書式書式略ノ學校醫ノ身體檢查書但シ學校醫ノ設置ナキ地ニ在リテハ明治三十一年文部省令第七號第一條若ハ第二條ニ該當スル資格アル醫師ノ檢查書ヲ以テスルモ妨ケナシ地方長官又ハ當該學校長ハ本人ノ品行ニ就キ意見ヲ具申スルコトヲ要ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認メタル學科目ニ關シ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

一 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者及選科修了者
二 (以下略)

二十、教員無試験檢定ニ關スル指定學校

名及學科目(抄) (明治三十六年文部省令第三十號)(大正二年文部省告示第百六十七號改正)

明治三十三年文部省令第十號及明治三十六年同省令第二號教員檢定ニ關スル規

法 令 教員檢定ニ關スル規程(摘要) 教員無試験檢定ニ關スル指定學校名及學科目(抄) 二七

程第五條第一項第一號ニ依リ明治三十六年三月一日以後行フ處ノ無試験檢定ニ關シ指定スルコト左ノ如シ

米澤高等工業學校

應用化學科

元染織科色染分科

化學(當該學科成績優等ノ者ニ限ル)

色染科

二十一、公立私立實業學校教員資格ニ關ス

ル規程(摘要) (明治四十年文部省令第二十八號)

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業學校ノ教員タルコトヲ得

一、(二)略

三 文部大臣ノ指定シタル者

四 (略)

二十二、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル指定

(明治四十年文部省令第二十八號)

(前略)

官立公立實業專門學校本科卒業者

(以下略)

二十三、徵兵令(摘要)

(明治二十二年法律第一號)

第十三條 滿十七歳以上二十八歳以下ニシテ官立學校小學校及選科等(中略)ノ卒業證書ヲ所持シ(中略)服役中食料被服裝具等ノ費用ヲ自辨シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル者ハ志願ニヨリ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ニハ其幾分ヲ官給スルコトアルヘシ

(第二項以下略)

第廿三條 第十三條第一項ニ掲クル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ依リ滿二十八

法令 公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程(摘要) 公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル指定 徵兵令(摘要) 二九

歳迄徴集ヲ猶豫ス其事故滿二十八歳迄ニ止ミ又ハ二十八歳ヲ過タルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徴集ス但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者(中略)ハ此限ニ在ラス

(第二項略)

第廿五條 (前略)第廿三條第一項ニ當ル者ニシテ廿八歳迄ニ事故止ミ(中略)タル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ(月主ニ非サル者)本籍ノ市町村長ニ届出可シ(但書略)第卅條 第廿五條ノ届出ヲ爲サ、ル者(中略)ハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

二十四、徴兵事務條例(摘要) (明治二十九年勅令第百十二號)

第五十五條 徴兵令第廿三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書(中略)ヲ添へ毎年四月十五日迄ニ聯隊區徴兵官又ハ警備隊區徴兵官ニ願出ヘシ

(第二、三項略)

本條ノ願書ニハ町村長ノ奥書證印ヲ受クヘキモノトス

二十五、徴兵事務條例ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規程 (明治三十六年文部省令第三十九號)

第一條 徴兵事務條例第五十五條ニ依リ學生、生徒ニ在學證明書ヲ交付スルトキハ左ノ書式ニ據ルヘシ

在學證明書
原籍
氏名
生年月日

在學ノ學科及學年

生年月日

入學ノ年月日

徴兵事務條例第五十五條ニ依リ在學ヲ證明ス

學校所在地

年月日

何々學校長 氏 名印

第二條 學校長ハ在學證明書交付名簿ヲ調製シ前條ノ證明書ヲ交付スルトキハ

法 令 徴兵事務條例(摘要) 徴兵事務條例ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書 三一

證明書ノ番號ヲ該名簿ニ記入シ且證明書ト名簿トニ割印ヲナスヘシ

第三條 卒業若ハ退學等ニ依リ第一條ノ證明書ヲ交付シタル學生生徒ノ學籍ヲ除キタルトキハ學校長ハ其ノ除籍ノ事由及年月日ヲ十四日以内ニ原籍地ノ市長北海道、沖繩縣、東京市、京都市町村長町村制ヲ施行セサル地方ニ在ニ通知スヘシ

二十六、陸軍一年志願兵條例(摘要) (明治三十七年勅令第八十四號)

第二條 一年志願兵ノ兵科ハ本人ノ冀望ト軍事上ノ必要トニ依リ之ヲ定ム

第三條 一年志願兵出願者ニシテ左ノ各號中第一號ニ該當スル者ハ主計生(中略)タラムコトヲ志願スルコトヲ得

一 專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ法律又ハ經濟ノ課程ヲ卒業シタル者

二 (以下略)

第九條 一年志願兵タラムトスル者ハ本籍所在師管ノ師團長ニ願出テ身體検査

(中略)ヲ受クヘシ但シ其ノ検査(中略)ハ寄留地所在師管ニ於テ之ヲ受クルコトヲ得

前項出願ノ期日手續並検査(中略)ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

二十七、陸軍一年志願兵條例施行細則(摘要)

(明治三十七年陸軍省令第十三號)

第四條 一年志願兵ヲ出願スル者ハ其ノ願書ニ戶籍謄本履歷書ヲ添ヘ(中略)七月十日迄ニ本籍地ノ市町村長ニ差出スヘシ

前項ノ願書ニハ徵兵令第十三條ノ學校卒業者ニ在リテハ學校長ノ卒業證明書、戶主ニ非サル者ハ戶主未成年者ニ在リテハ親權者ノ服役承認書ヲ添附スヘシ

(第三項略)

二十八、米澤高等工業學校規程 (明治四十三年文部省令第十六號、大正二年文部省令第十二號改正)

第一條 米澤高等工業學校ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 米澤高等工業學校ノ學科ハ分チテ色染科、紡織科、應用化學科及機械科ト

法 令 陸軍一年志願兵條例(摘要) 陸軍一年志願兵條例施行細則(摘要)

ス

第三條 米澤高等工業學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

(學科目等略之)

第四條 卒業者ニシテ既修ノ學科ニ就キ研究セントスル者ハ研究生トシテ二箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科中ノ一學科目若ハ數學科目ヲ撰擇專修セントスル者ハ選科生トシテ三箇年以内在學ヲ許スコトヲ得

第三 學年曆

四月一日	第一學期始、春季休業始
四月三日	神武天皇祭
四月七日	春季休業終

四月八日	授業開始
七月十一日	夏季休業始
七月三十日	明治天皇祭
八月三十一日	天長節
八月三十一日	第一學期終
九月一日	第二學期始
九月十日	夏季休業終
九月十一日	授業開始
秋分日	秋季皇靈祭
十月一日	本校創立記念日
十月十七日	神嘗祭
十月三十一日	天長節祝日
十一月二十三日	新嘗祭
十二月二十五日	冬季休業始

十二月三十一日
 一月一日
 一月七日
 一月八日
 二月十一日
 春分日
 三月三十一日

第二學期終
 四方拜第三學期始
 冬季休業終
 授業開始
 紀元節
 春季皇靈祭
 第三學期終

第四 規則

一、米澤高等工業學校規則

第一章 總則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ工業ニ從事スヘキ者ニ高等ノ學術、技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス

第二條 本校本科ノ學科ヲ分チテ色染科、紡織科、應用化學科、機械科トス

第三條 各學科ノ修業年限ハ各三箇年トス

第四條 本校ニハ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ
 研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 學科課程

第五條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

色染科

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
英語	三	四	四
數學	二	四	四

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	時數	每週授期	時數	每週授期	時數	每週授期
數	五	三	五	三	五	三
英	五	三	五	三	五	三
修	五	三	五	三	五	三
身	一	一	一	一	一	一
體	二	二	二	二	二	二
實						
習						
化						
學						
物						
理						
色						
染						
機						
織						
計	三九		三九		三九	

工業簿記	工業經濟	分析	仕上	色染	織機	組織	織物原料及計算	應用機械	製圖	圖畫	化學	物理
		四				二	二		五	二	三	四
		四				二	二		五	二	三	四
		四				二	二		五	二	三	四
		五		三	二			三	五	二	一	
		五		三	二			三	五	二	一	
		五		三	二			三	五	二	一	
一	一		二	三				二			二	
一	一		二	三				二			二	
一	一		二	三				二			二	

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
數	二	二	二	二	二	二
英	三	三	四	四	四	四
修	一	一	一	一	一	一
體	二	二	二	二	二	二
實						
物	五	五	六	六	一六	一九
理						
化						
學						
習						
計	三九	三九	三九	三九	三九	三九
仕					三	
機	六	六	九	九	一六	一九
織						
解						
剖						
染			六	六	一六	一九
色						
物						
理						
化						
學						
習						
體	二	二	二	二	二	二
操						

應用化學科

工業簿記	工業經濟	織機	組織	仕上	色染	織物原料及計算	紡績	應用機械	製圖	圖畫	化學	物理
			二			二			五	二	二	四
			二			二			五	二	二	四
			二			二			五	二	二	四
			二			二			五	二	二	四
		二	二		二	二	三	五				一
		二	二		二	二	三	五				一
		二	二		二	二	三	五				一
一	一	三	二	二		二	二					
一	一	三	二	二		二	二					
一	一											

物理學	化學	製圖	應用機械	應用化學	電氣化學	製造機械	工業經濟	工業簿記	體操	分析	實習	工場
四	三	五							二	一六		
四	三	五							二	一六		
四	三	五							二	一六		
一	二	五	三	六	二				二	一三	一	三
一	二	五	三	六	二				二	一三	一	三
一	二	五	三	六	二				二	一三	一	三
												三
												三
												二
												四

物理	計
三	三九
三	三九
三	三九
	三九
	三九
	三九
	三九
	三九

機械科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
英語	三	三	三	四	四	四	四	四	四
數學	五	五	五	三	三	三			
物理學	四	四	四						
應用力學	二	二	二	四	四	四			
工作法	二	二	二	一	一	一			
發動機				四	四	四	三	三	三

電氣工學	特別講義	工業經濟	工業簿記	體操	製圖	工場實習	計
				二	二〇	二〇	三九
				二	二〇	二〇	三九
				二	二〇	二〇	三九
三				二	一七	一七	三九
三				二	一七	一七	三九
三				二	一七	一七	三九
	四	一	一	二	二三	二三	三九
	四	一	一	二	二三	二三	三九
	四	一	一	二	二三	二三	三九

四四

備考 工場建築及工場衛生ヲ課スルコトアルトキハ各學科共第三學年中每週一時間實習ノ時間ヲ之ニ充ツルモノトス

第三章 學年學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期ハ四月一日ニ始マリ八月三十一日ニ終ル

第二學期ハ九月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三學期ハ一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第八條 休業日ハ左ノ如シ

- 一 祝日、大祭
- 一 日曜日
- 一 本校記念日 十月一日
- 一 春季休業 自四月七日至四月七日
- 一 夏季休業 自七月十一日至九月十日
- 一 冬季休業 自十二月廿五日至翌年一月七日

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第九條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ一箇月以内トス

第十條 各學科第一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固、年齡十七年以

上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定及體格検査ニ合格シタル者タルヘシ

- 一 中學校ヲ卒業シタル者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ據ル試験檢定ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
- 四 工業學校ヲ卒業シタル者但シ志望學科ト同種類若クハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル

第十一條 中學校又ハ工業學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年三月末日迄ニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタルモノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

前項入學志願者ハ其ノ學校ヲ卒業シタルトキ直ニ卒業成績證明書ヲ提出スヘシ但シ卒業試験ニ落第シタル者ニハ入學ヲ許サス

第十二條 入學檢定ノ方法ハ無試験檢定及試験檢定ノ二種トス

第十三條 左記ニ該當スル入學志願者ハ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

一 中學校卒業生ニシテ二箇年以上當該學校ニ在學シ最終學年學科成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ其ノ學級及第者全數ノ四分ノ一以内ニアリテ卒業後二箇年以上ヲ經過セサル者

二 中學校在學者ニシテ第四學年ノ初メヨリ當該學校ニ在學シ第四學年學科成績ノ席次並ニ第五學年第一學期及第二學期ノ平均學科成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ其ノ學級生徒全數ノ五分ノ一以内ノ者

第十四條 無試験檢定ニヨリ入學志願者ヲ選拔スルニハ中學校在學中ニ於ケル學業成績體格検査並ニ其ノ他ノ要件ヲ考查スルモノトス但シ本文ニヨリ選拔セラレタル者ハ入學ノ際更ニ本校ニ於テ體格検査ヲ受ケ之ニ合格スルヲ要ス

第十五條 無試験檢定ニヨリ入學ヲ許可スヘキ者ノ數ハ各學年募集人員ノ約半數トス

第十六條 無試験檢定ノ選拔ニ漏レタル者ハ別ニ出願ヲ要セス試験檢定ヲ受クルコトヲ得

第十七條 試驗檢定ヲ受クル者ニ對シテハ國語、漢文、英語、數學、物理、化學、圖畫、自在畫及用器畫ノ學科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニヨリ試驗ヲ行ヒ同時ニ體格檢査ヲ行フ

第十八條 入學ヲ出願スルニハ第二條ニ掲ケタル學科中ニツキ志望學科ヲ指定スヘシ但シ志望學科二箇以上ヲ指定スル場合ニハ志望ノ順序ヲ明ニスヘシ

第十九條 入學ヲ出願スル者ハ左ノ書類ニ入學檢定手数料及寫眞、入學志願前六箇月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形ヲ添ヘ學校長ヘ差出スヘシ

一 入學願書(第一號書式)

二 履歷書(第二號書式)

三 戶籍謄本

四 學業成績證明書(第三號書式)

五 體格檢査證(第四號書式)但シ試驗檢定ヲ出願スル者ハ提出ヲ要セス

第二十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ保證人ノ署名セル誓書(第五號書式)ヲ本校ニ差出スヘシ

第二十一條 保證人ハ成年以上ノ男子ニシテ米澤市又ハ同市附近ノ地ニ住所ヲ有シ生徒在學中ニ係ル一切ノ事件ニ就キ其ノ責ニ任スヘキモノタルヘシ

米澤市又ハ同市附近ノ地ニ於テ保證人ヲ得難キトキハ父兄又ハ後見人ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第二十二條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ誓書ヲ本校ニ差出スヘシ

第二十三條 保證人轉居又ハ改姓、改名、改印等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第二十四條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限

リ詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定手数料ヲ徵收セス

第二十五條 生徒ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第二十六條 生徒疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ詳記シテ速カニ届出ツヘシ但シ病氣ノ爲メ缺席七日以上ニ亘ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十七條 生徒疾病ニ依リ引續キ三箇月以上修業シ能ハスト思料スルトキハ
 一 醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ其ノ
 學年間休學スルコトヲ得但シ休學中其ノ事由消滅シタルトキハ許可ヲ得テ一
 學科目又ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ノ始メヨリ更ニ原級ノ課程ヲ修
 ムヘシ

第二十八條 生徒改姓、改名、轉籍、轉居若ハ改印ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直ニ届出
 ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ニハ戶籍抄本ヲ添フルヲ要ス

第二十九條 生徒徵兵令第十三條ニ據リ陸軍一年志願兵ニ服役スル者ハ學校長
 ノ許可ヲ得テ其ノ間休學スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者服役ヲ終リタルトキハ直ニ原級ニ復歸ス
 ヘシ

第三十條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入り又ハ他學
 校若クハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上其ノ旨願出ツヘシ

第三十一條 生徒已ムヲ得サル事由ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具
 シ保證人連署ノ上學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ニ因リ退學セント
 スル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學業劣等若クハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一箇年以上缺席シタル者但シ休學ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ
 在ラニス

四 正當ノ理由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者

五 正當ノ理由ナクシテ屢缺席常ナラサル者

六 授業料滞納二週日ニ亘ル者

第三十三條 生徒ニシテ校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失ヘリト
 認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ヲ懲戒ス

懲戒ハ分テ譴責、停學、放校トス

第五章 修業及卒業

第三十四條 各學年ノ課程修了ハ該學年中平素ノ勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十五條 前條ノ考查ニ合格セサル者ニハ次學年ノ始メヨリ原級ノ課程ヲ再修セシムルモノトス

第三十六條 已ムヲ得サル事由ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ次學期ノ始メ二週日以内ニ之ヲ行フ

第三十七條 第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十八條 第三學年ノ成績考查ニ合格セサル者ニハ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十九條 成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章 特待生

第四十條 生徒品行方正ニシテ學業ニ熱心シ一學年中ノ成績優良ナル者ハ學校

長之ヲ選ミテ次學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

第四十一條 特待生ニハ授業料ヲ徴收セス

第四十二條 特待生ニシテ其ノ資格ヲ失ヒタル者ハ直ニ特待生タルコトヲ罷ム

第七章 入學檢定手數料、授業料、實習實驗費

第四十三條 入學檢定手數料ハ金參圓トス

第四十四條 授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金貳拾五圓選科生ハ金拾五圓ト

ス

外國人ニシテ特別ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金五拾圓選科生ハ金參拾圓トス

第四十五條 授業料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分テ每期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

本科及研究生 同選科生 外國人本科及研究生 同選科生

第一期自四月至八月 金拾圓 金五圓 金貳拾圓 金拾圓

第二期自九月至十二月 金八圓 金五圓 金拾五圓 金拾圓

規 則 米澤高等工業學校規則

第三期自一月至三月 金七圓

金五圓

金拾五圓

金拾圓

第四十六條 研究生及選科生ニハ實習、實驗ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ

第四十七條 入學檢定手數料、授業科及實習實驗費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付セス

第四十八條 實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給希望者ニ對シテハ其ノ補給決定ニ至ル迄授業料徴收ヲ猶豫シ補給生トナリタルトキハ之ヲ徴收セス

本科生徒中卒業後實業學校ノ教職ニ従事セントスル志望確實ナル者ニシテ學校長ノ選定ヲ得タル者ニハ授業料ヲ徴收セス

前項ノ選定ヲ得タル者ハ卒業ノ日ヨリ二箇年間實業學校ノ教職ニ従事スル義務アルモノトス

第四十九條 停學ヲ命セラレタル者又ハ休學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ期間内授業料ヲ徴收セス但シ授業料徴收期日以前ニ停學又ハ休學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ本科及研究生ハ金貳圓五拾錢選科生ハ金壹圓五拾錢外國人本科及

研究生ハ金五圓同選科生ハ金參圓トシテ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ日ヨリ一箇月本科及研究生ハ金貳圓五拾錢選科生ハ金壹圓五拾錢外國人本科及研究生ハ金五圓同選科生ハ金參圓ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日內ニ納付スヘシ但シ第二號又ハ第三號ニ該當スル者ニシテ既ニ其ノ期ノ授業料納付済ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

一 特待生ノ資格消滅シタル者

二 停學ヲ解除セラレ就學シタル者

三 休學ノ事故止ミ就學シタル者

四 學期ノ半途ニ於テ入學ヲ許可シタル者

第五十一條 授業料ハ定日ニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ五日以內ニ之ヲ納付スヘシ

第五十二條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ尙納付セサルトキハ保證人ニ之ヲ催告ス

前項ノ催告ヲ受ケ納付セサルトキハ第二十五條ニ依リ處分ス

第八章 研究生

第五十三條 本校卒業者ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究セント欲スル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ二箇年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十四條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項及在學ノ期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第五十五條 研究生ハ學校内ニ於テ研究ニ従事スル者トス但シ必要ノ場合ニ於テハ或ル期間ヲ限リ指導教官指揮ノ下ニ學校外ニ於テ研究スルコトヲ許可スルコトアルヘシ

第五十六條 研究生ハ其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第五十七條 學校長ハ研究報告書ヲ考查シ其ノ成績佳良ナリト認メタルトキハ研究證明書ヲ授與ス

第九章 選科生

第五十八條 本校所定ノ各學科ノ中一學科目若クハ數學科目ヲ選擇專修センコトヲ願出ツル者アルトキハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十九條 選科生トシテ入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固年齢十七年以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ入學檢定及體格檢査ニ合格シタル者タルヘシ

- 一 二箇年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ従事シタル者
- 一 工業學校ヲ卒業シタル者

第六十條 選科生ノ入學檢定ハ所選ノ學科目ヲ學修スルニ必要ナル學科目ニ就キ試験檢定ヲ行フ

第六十一條 本校生徒ニシテ一旦退學シタル者更ニ選科生トシテ入學ヲ願出ツルトキハ入學檢定ヲ省略シ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ此場合ニハ檢定手数料ヲ徴收ス

第六十二條 選科生ノ入學時期ハ每學年ノ始メ一箇月以内トス但シ特別ノ場合

ニハ學年ノ半途ニ於テ入學ヲ許可スルコトアルヘシ
 第六十三條 選科生ノ在學期間ノ三箇年以内トス
 第六十四條 選科生ニシテ成績考査ニ合格シタル者ニハ所選ノ學科目履修ノ證書ヲ授與ス

第六十五條 選科生ハ制服制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第十章 寄宿舎

第六十六條 寄宿舎ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第一號書式 (用紙半紙)

入學願書

志望科 第一志望某科
第二志望以下ヲ指定セサル者ハ第一志望ノ外記入ヲ要セス
 第二志望某科
 第三志望某科

私儀御校へ入學前記學科修業仕度候間御試驗(無試驗檢定出願者ハ「御試驗」ヲ「入學御談議」ト改ムヘシ)相成度左記書類等相

添へ此段相願候也

一 履歷書

一 戶籍謄本

一 學業成績證明書

一體格檢査證(試驗檢定ヲ受ケル者ハ之ヲ要セス)

一 入學檢定手数料金參圓

一 寫眞

現 住 所

道、府、縣、何國、市、郡、區、町、村、大字何番地寄留或ハ何某方同居等

本籍及族稱

道、府、縣、何國、市、郡、區、町、村大字何番地、華、士族、平民、戶主或ハ何某何男又ハ弟等

日 付

何年何月何日

氏 名 印

何 某印

出生年月日

何年何月何日生

米澤高等工業學校長何某殿

第二號書式 (用紙半紙)

履 歷 書

族 籍 道、府、縣、華、士族、平民、戶主或ハ何某何男何ハ弟等

氏名	何 某
出生年月日	何年何月何日生
學業	何年月日ヨリ何年月日マテ何所何某ニ就キ何學修業 何年月日官、公、私立何學校ニ入り何學科修業 何年月日卒業或ハ何々ニ付半途退學或ハ何箇年ノ課程ヲ卒フ
兵役	來何年徵兵適齡或ハ何年月日ヨリ何年月日マテ何師團何旅團何兵何聯隊 ニ入り陸軍現役ニ服セリ或ハ何年月日何所ニ於テ徵兵検査ヲ受ケ何々ニ 付國民軍ニ編入セラル、等
職業	何年月日何官職拜命何年月日依願免官或ハ現今在職等 何年月日何業ニ從事何年月日廢業或ハ現今從事等 何年月日何工場ニ入り何業實修何年月日退場或ハ從事等
家業	戶主ノ家業ヲ記ス家業ナキ者ハ其ノ趣ヲ記スヘシ
賞罰	何年月日何所ニ於テ何々ニ付賞罰ヲ受クル等

右ノ通相違無之候也

日付 何年何月何日
氏名 何
印 某印

第三號書式 (用紙半紙)

學業成績證明書

道、府、縣、何國、市、郡、區、町、村大字何番地
道、府、縣、華、士族、平民

何 某

何年何月何日生

右者明治何年何月本校第何學年ニ入學何年何月本校ヲ卒業(又ハ本校ニ於テ專門學校入學者試驗檢定ニ合格)シタル者(又ハスヘキ見込ノ者)ニシテ本校在學中ノ學業成績(又ハ試驗成績)左ノ通ニ候也

年月日

何地官、公、私立何學校長何某印

學業成績表

第一學年	學科目													平均 點數	席次	何人中 何番
	身修	國語	英語	歷史	地理	數學	博物	物理	化學	法制	圖畫	歌唱	操體			

第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	何人中 何番

（備考）

工業學校卒業生ノ成績表モ右ニ準スルモノトス
專門學校入學試験檢定合格者ニアリテハ試驗科目其ノ評點及合格總人員中ノ席次ヲ掲クルモノトス席次ヲ定ムルニ學科評點數ノミニ據ラサルモノハ其ノ標準ヲ記載スルヲ要ス

第四號書式（用紙半紙）

身體檢査證

道、府、縣、何國、市、郡、區、町、村、大字何番地
道、府、縣、華、士族、平民
何 某

明治何年何月何日生
何年何ヶ月

身體	身長	體格	胸圍	心臟	呼吸	聽力	中視	皮膚	言語	既往及現在 疾病ハ 形ノ	右検査候處相違無之候也
			常時盈重	虛力	吸器	有障 害無ノ	眼疾	器行	器系		
			左	右	器	耳色	眼疾	器	器		
			盲疾								

道、府、縣、何國、市、郡、區、町、村、大字何番地

何學校學校醫

學位(若クハ資格)何

某印

第五號書式 (用紙美濃)

三錢
收入
紙印

誓書

私儀今般貴校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候仍テ誓書如此候也

現住所

本籍地

族稱戸主(若ハ戸主トノ續柄)

何

某印

年月日生

右何某在學中御規則等堅ク相守ラセ候事ハ勿論退學後タリトモ同人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受申候此段保證仕候也

現住所

年月日

本籍地
族稱職業
保證人

何

某印

年月日生

米澤高等工業學校長何某殿

第五 教育綱領

左ニ本校教育ノ綱領ヲ示シ職員並ニ生徒ヲシテ遵由スヘキトコロヲ知ラシム

- 一、教育ニ關スル勅語並ニ戊申詔書ノ聖旨ヲ奉體スヘシ
- 二、校規ヲ守リ師長ヲ敬ヒ學友ヲ親愛スヘシ
- 三、學業ヲ勵ミ品行ヲ慎ミ志操ヲ高尚ニスヘシ
- 四、身體ヲ強壯ニシ精神ヲ快活ニシ意志ヲ鞏固ニスヘシ

第六 細 則

一、本校規則施行細則

第一章 授 業

- 第一條 各學科ノ授業ハ別ニ定ムル教授要旨及教授要目ニ據リテ之ヲ課ス
- 第二條 一授業時ヲ五十分トス但シ之ヲ延長シ又ハ二時以上連續授業スルコトアルヘシ
- 第三條 授業ハ午前八時十分ニ始マリ午後四時ニ終リ土曜日ハ午前限リトス但シ晝夜長短ノ關係等ニヨリ終始ノ時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ
- 第四條 每週授業ノ時間割ハ各學期ノ始メニ當リ之ヲ定ム但シ場合ニヨリ中途ニ之ヲ變更シ又ハ臨時日課ヲ變更スルコトアルヘシ
- 第五條 左ノ場合ニハ授業ヲ缺ク
 - 一 休業日
 - 二 試験成績考查儀式修學旅行校外實習又ハ其ノ他ノ行事ヲ以テ授業ニ代ヘ

タルトキ

- 第六條 前條ニヨリ授業ヲ缺キタル爲メ又ハ其ノ他ノ事由ニヨリ課程進度上必要アリト認ムルトキハ所定時間割以外ノ授業ヲ課スルコトアルヘシ
 - 第七條 教官ノ出張賜暇忌引缺勤等ニヨリ其ノ授業ヲ缺ク場合ニハ實習ヲ課シ又ハ圖書室ニ於テ自修セシム
 - 第八條 必要ト認ムルトキハ臨時二學級以上ヲ合セテ一學級トナシ合級授業ヲナスコトアルヘシ
 - 第九條 事情ノ許ス限リ春季夏季冬季ノ休業中校外實習ヲ課ス
- #### 第二章 學級編制
- 第一條 本校各科各學年ヲ各一學級ニ編制ス
 - 第二條 各科ニ科長及理事各一人ヲ置キ關係教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス
 - 第三條 各學級ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
 - 第三條 各學級ニ總代二人ヲ置ク
 - 學級總代ノ任期ヲ一學年トシ每學年ノ始メニ於テ當該學級ノ生徒ヨリ候補者

四人ヲ互選セシメ其ノ中ニ就キ學校長之ヲ命ス但シ第一學年第一學期間ハ年長順ニヨリ二名ヲ選ヒテ總代ノ任ニ當ラシム

第四條 學級總代ハ科長及理事ノ指導ヲ承ケ教室及出席簿ノ整理校命ノ傳達其ノ他當該學級ニ關スル一切ノ世話ヲナスモノトス

第五條 學級總代ハ必要ニ應シ他ノ生徒ヲシテ補助ヲナサシムルコトヲ得

第三章 成績考查

第一條 生徒ノ學業成績ハ學期成績學年成績及卒業成績ノ三種ニ分チテ之ヲ調査ス

第二條 前條ノ成績ヲ調査スルタメ定期試験ヲ施行ス但シ學科ノ種類ニ依リ臨時試験ヲ施行シ論文ヲ課シ又ハ平素ノ成績ヲ考查シ以テ定期試験ニ代フルコトヲ得

定期試験ハ各學期ノ終リニ於テ之ヲ施行ス

第三條 各科目ノ學期成績ハ該學期內ニ施行シタル定期試験又ハ臨時試験ノ成績論文ノ成績若クハ平素ノ成績ニ依リ擔當教官之ヲ評定ス

學期成績ハ各學期ノ終リニ於テ之ヲ調査ス

第四條 各科目ノ學年成績ハ該科目各學期ノ成績ニ依リ擔當教官之ヲ評定ス學年成績ハ每學年ノ終リニ於テ之ヲ調査シ教授會ニ於テ之ヲ評定ス修身ニ就キテハ成績ヲ評定セサルコトアルヘシ

第五條 各科目ノ卒業成績ハ該科目各學年成績ヲ參按シ擔當教官之ヲ評定ス卒業成績ハ修業年限ノ終リニ於テ之ヲ調査シ教授會ニ於テ之ヲ評定ス

第六條 成績ノ評定ハ之ヲ甲乙丙丁戊ノ五等ニ分チ丁以下ヲ落第トス

第七條 定期試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ本校規則第三十六條ニ依リ退試験ヲ行フ

第八條 已ムヲ得サル事由ニヨリ退試験ニ缺席シタル者ニ對スル所置ハ別ニ之ヲ定ム

第九條 及第落第及卒業ハ教授會ノ議ニ付シ學校長之ヲ決ス

第四章 校章及服制

第一條 本校ノ徽章ヲ第一校章及第二校章ノ二種トス其ノ様式左ノ如シ

第二條 第一校章及第二校章ハ制服制帽

ノ徽章其ノ他學校長ノ特ニ指定セル場
合ニ之ヲ用フ

第三條 本校生徒ノ服制左ノ如シ

一、制帽

形 海軍形

地質 濃紺絨又ハ黑絨

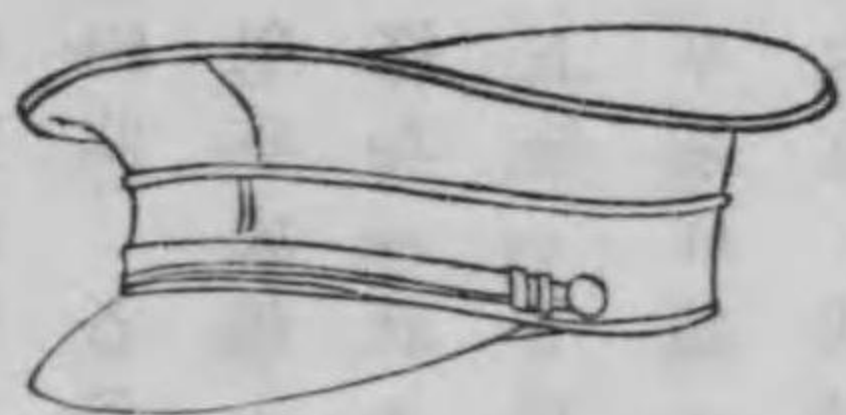
徽章 眞鍮製金色第一

校章縦徑一寸二分五
厘横徑一寸一分

眼庇 黑塗革

頤紐 黑塗薄革幅四分

釦ハ眞鍮製金色徑三
分



二、略帽

形 圖ノ如シ

品質 麥稈高サ二寸乃至二寸

五分縁幅一寸五分乃至二寸

編方普通鉢巻ハ黑色リボン

幅一寸乃至一寸二分制帽ニ

等シキ徽章ヲ前面ニ附ス



三、制服

形 圖ノ如

ク立襟背廣

地質 冬服、濃

紺絨、夏服紺

セル地

釦 胸釦徑

七分袖釦徑

四分共ニ眞

鍮製金色第

二校章



四、襟章

色染科ハ



紡織科ハ



應用化學科ハ



五、外套

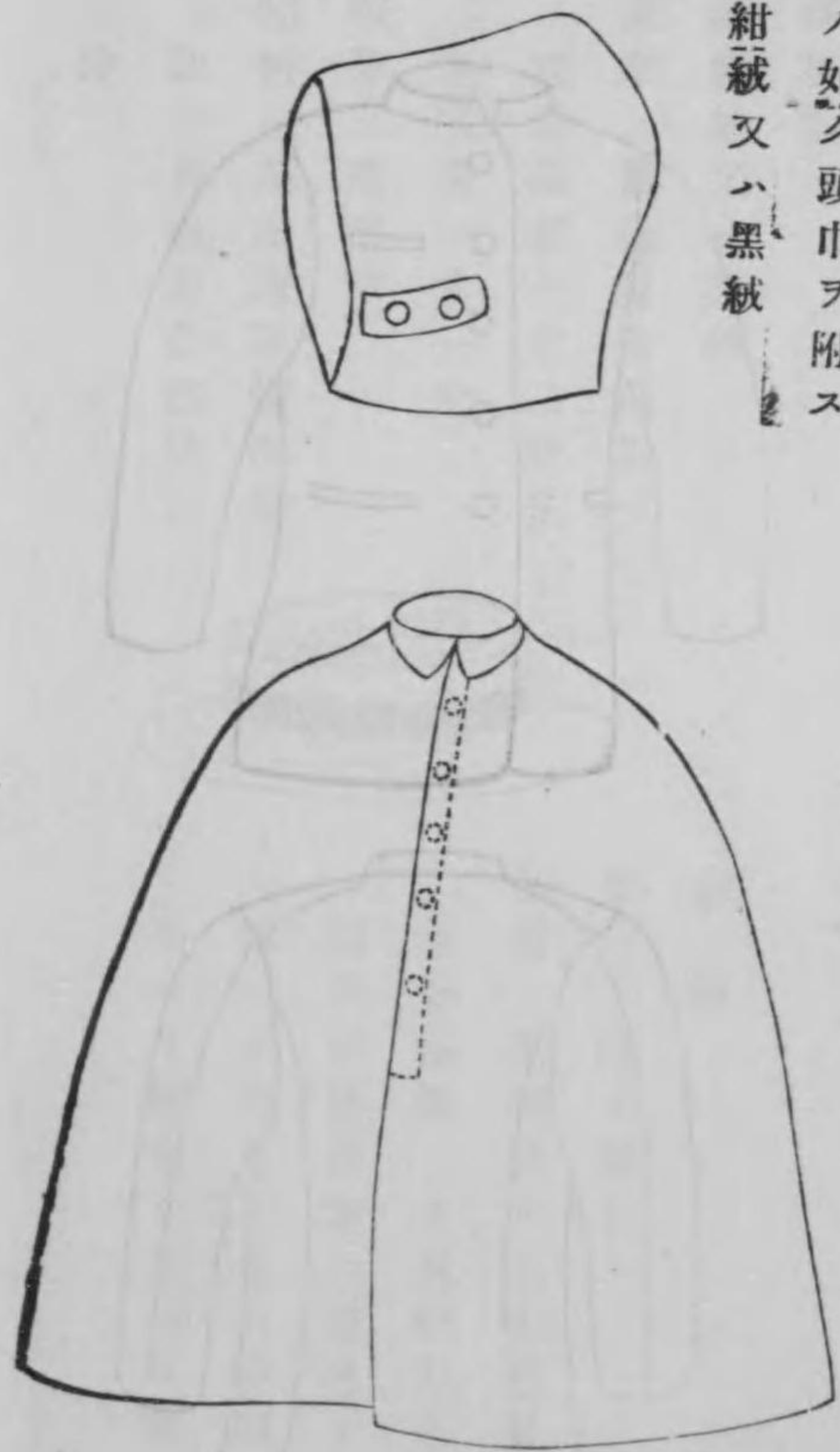
機械科ハ



トシ眞鍮製金色縦徑四分五厘トス

形 圖ノ如ク頭巾ヲ附ス

地質 濃紺絨又ハ黒絨



六、工場服



形 圖ノ如シ
地質 霜降小倉
釦 角製形圖
ノ如シ

但シ機械科ニ限リ左ノ工場服ヲ用ユ



形 圖ノ如シ
 地質 霜降小倉
 鈕 角製形圖
 ノ如シ

第四條 本校生徒ノ正装ハ制服制帽黒革靴トス

第五條 儀式ノ場合ニハ正装スヘシ

第六條 登校ノ際ハ制服制帽ヲ着ケ靴ヲ穿ツヘシ脚胖ハ特ニ指定シタル場合ニ着用スヘシ

學校ノ指定セル場合ニハ靴ヲ穿タサルコトヲ得

第七條 校舎内ニ昇ルトキハ脱靴シ上靴(又ハ上草履)ヲ用フヘシ

第八條 工場ニ於テ實習スル場合ニハ工場服ヲ着用スヘシ

第九條 制服ヲ着用シ難キ事情アルトキハ其ノ旨ヲ申出テ許可ヲ受クヘシ

第十條 外出ノ際ハ成ヘク制服ヲ着用スヘシ和服ヲ着用スルトキハ必ス袴及制帽(又ハ制定ノ略帽)ヲ着クヘシ

第十一條 夏服着用期間ハ六月一日ヨリ九月三十日迄トス但シ時宜ニヨリ本文ノ期日ヲ伸縮シ又ハ臨時變更ヲ指定スルコトアルヘシ

第十二條 夏服着用ノトキハ略帽ヲ以テ制帽ニ代用スルコトヲ得但シ特ニ指定シタル場合ハコノ限ニアラス

第十三條 新ニ入學セル生徒ニ對シテハ入學後一ヶ月ヨリ本章ノ規定ヲ適用ス

第五章 授業料

第一條 授業料納付期日ハ左ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム

第一學期分 四月八日ヨリ同月二十日ニ至ル間

第二學期分 九月十一日ヨリ同月二十日ニ至ル間

第三學期分 一月八日ヨリ同月二十日ニ至ル間

第六章 寄宿舎規則

第一條 本校ニ寄宿舎ヲ設ク其ノ趣旨左ノ如シ

- 一 生徒ヲシテ規則正シキ生活ヲナサシムルコト
- 一 生徒ヲシテ共同生活ニ必要ナル心得ヲ學ハシムルコト
- 一 生徒ノ心身ノ修養並ニ學術ノ練磨ニ便益ヲ與フルコト
- 一 其他諸般ノ事項ニツキ生徒ヲ指導シ以テ校風振作ノ源泉タラシムルコト

第二條 本校生徒ハ總テ寄宿舎ニ收容ス但シ學校ノ都合ニヨリ公認下宿ニ寄宿

セシメ又ハ生徒ノ特別ナル事情ニヨリ自宅職員宅親戚宅等ヨリ通學スルヲ許スコトアルヘシ

第三條 夏季休業中ハ寄宿舎生徒ヲ退舎セシム

冬季休業及春季休業中ハ外泊ヲ許スコトアルヘシ

第四條 寄宿舎生徒ノ起床洒掃食事黙習外出消燈等ノ時限ハ別ニ定ムル所ニ據ラシム

第五條 寄宿舎生徒臨時ニ外泊又ハ歸省セントスルトキハ其ノ事由ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘタル願書ヲ差出シ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第六條 寄宿舎内ニテ治療シ難キ疾病ニ罹リタル生徒ニハ外泊ヲ命ス

第七條 寄宿舎生徒ハ舍費トシテ七月八月ヲ除キ一ヶ月金一圓ヲ指定ノ期日ニ

納付スヘシ在舎一箇月ニ滿タサル場合ト雖モ全月分ヲ納付スルモノトス

第八條 寄宿舎生徒ハ食費トシテ學校ニ於テ定ムル所ノ金額ヲ指定ノ期日ニ納付スヘシ

第九條 舍費及食費ヲ定日ニ納付セサルトキハ本校規則第三十二條第一項第六號ノ例ニヨリテ之ヲ處分ス

第十條 寄宿舎生徒ハ常ニ本章第一條ノ趣旨ヲ體シ寄宿舎例規慣例及時々ノ告示ヲ遵守スヘク又己ノ同輩ト雖モ學校ノ命令ニヨリ若クハ相互ノ選舉ニヨリ役員トナリタルトキハ之ニ對シテ敬意ヲ持シ其ノ節度ニ服從スヘシ

第七章 圖書、標本、器具及機械

第一條 本校所有ノ圖書ハ之ヲ書庫ニ藏ス

第二條 書庫ニハ他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管スルコトアルヘシ

第三條 教授上及事務上特ニ必要ノ圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得

第四條 職員ハ別ニ定ムル規定ニヨリ本校所藏ノ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第五條 圖書ヲ閱覽スルコトヲ得ルモノハ職員、生徒及第二條ノ圖書委託者其ノ他學校長ノ特許ヲ得タルモノニ限ル

第六條 本校所定ノ規則ニ違反シ又ハ其ノ他不都合ノ行爲アルモノハ圖書ノ閱

覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第七條 本校所藏ノ學術用機械及標本ハ各所屬教室若クハ附屬室、實驗室、工場等ニ備付ク

第八條 生徒ハ擔當教官ノ許可ヲ受ケ實驗用又ハ實習用機械ヲ使用スルコトヲ得

第九條 本校ノ圖書、標本、機械又ハ器具ヲ紛失、毀損又ハ汚染シタルトキハ其ノ損害ノ程度ニヨリ同一ノ物品ヲ以テ之ヲ償ハシメ若クハ之ヲ修理セシム

二、生徒心得

第一條 本校教育綱領ノ趣旨ヲ體シ其ノ本分ニ悖ラサランコトヲ心掛クヘシ

第二條 本校規則細則及規程中生徒ニ直接關係アル條項並ニ實驗室心得、實習工場心得等ハ能ク之ヲ知悉シ確ク之ニ遵由スヘシ

第三條 校門出入ノ際各自名札ヲ表裏スヘシ

第四條 携帶セル學用品ノ類ハ所定ノ位置ニ置クヘシ

- 第五條 授業時間ニハ遲滞ナク教室ニ入り直ニ所定ノ席ニ就クヘシ遲參シタルトキハ教官ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第六條 授業ナキトキハ教場ニ入ルヘカラス但シ教官ヨリ命セラレタルトキ又ハ教務課ノ許可ヲ得タルトキハコノ限ニアラス
- 第七條 晝飯、喫烟ハ必ス所定ノ場所ニ於テスヘシ
- 第八條 日々本校揭示場ニ於ケル告示ニ注意スヘシ
- 第九條 登校中半途退出セントスルモノハ事由ヲ具シ生徒課ノ許可ヲ得出門證ヲ申受ケ之ヲ門衛ニ交付スヘシ
- 第十條 本校生徒ハ寄宿舎ニ入ルヘシ但シ自宅、職員宅、親戚宅等ヨリ通學スルヲ許可セラレタルモノハコノ限ニアラス
- 第十一條 通學生徒歸省又ハ旅行スルコト一週日ニ渉ル場合ハ其ノ事由及行先又ハ宿所ヲ詳記シタル願書ヲ差出シ許可ヲ待ツヘシ
- 第十二條 米澤市内ニ保證人ヲ有セサルモノハ市内ニ一家計ヲ營メル確實ナル戸主ヲ保證人代理トシ、保證人、保證人代理者及本人連署ヲ以テ學校長ニ届出ツ

ヘシ

- 保證人代理者死去又ハ前項ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人代理者ヲ定メテ速ニ届出ツヘク轉居、改姓、改名等ノトキモ亦直ニ届出ツヘシ
- 第十三條 内外ノ展覽會ニ製作物ヲ出品セント欲スル時ハ本校ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十四條 生徒ヨリ提出スル願届書ハ總テ生徒課ヲ經由スヘク特ニ規定セサル事項ニ關シテハ生徒課ニ申出テ其ノ指揮ヲ乞フヘシ
- 第十五條 生徒ニシテ揭示ヲナサントスルトキハ豫シメ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十六條 本校ニ天災又ハ非常事變アルトキハ速ニ出校シ職員ノ指揮ニ從ヒ救急ニ盡カスヘシ
- 第十七條 前各條ノ心得ニ悖戻シタルモノハ其ノ情狀ヲ審査シ本校規則第三十三條ニヨリ處分スヘシ

三、處務及服務規程

第一章 各科科長及理事

第一條 本校生徒ノ教育ニ關シ各科ノ連絡統一ヲ謀リ各相俟チテ優良ナル成績ヲ舉ケシメンカ爲メニ各科ニ科長各一人ヲ置ク

第二條 科長ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ左ノ事項ヲ掌理スルモノトス

- 一 所屬生徒教育ノ實施上他科トノ連絡ニ關スルコト
- 一 所屬生徒ノ勤惰性行及學業ノ成績ニ關スルコト

一 所屬生徒ノ賞罰休學退學ニ關スルコト

一 所屬生徒ノ校外實習ニ關スルコト

一 當該科卒業生就業ニ關スルコト

一 其ノ他當該科ノ利害ニ關スルコト

第三條 科長ヲ補佐スル爲メ各科長ニ理事一人ヲ附ス

第四條 科長及理事ハ關係教官中ニツキ學校長之ヲ命ス

第五條 學校長ハ科長會ヲ召集シ必要ト認ムル事項ニツキ諮詢ス

第六條 學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ教官ヲシテ科長會ニ列席セシム

第七條 科長會ノ記錄ハ教務課ニ於テ之ヲ擔當ス

第八條 科長ハ擔當ノ事項ニ關シ關係教官ノ一部若クハ全體ノ協議會ヲ開クコトヲ得

第九條 科長及理事ハ擔當ノ事項ニ關シテハ教務課或ハ生徒課ヲシテ其ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二章 主任教授

第一條 各科及左ノ學科ニ主任教授各一人ヲ置ク

一 修身

一 英語

一 數學

一 物理

一 圖 畫

一 體 操

第二條 主任教授ハ關係教授中ニ就キ學校長之ヲ命ス但シ關係教授ナキトキハ助教授或ハ講師ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 主任教授ノ掌理スヘキ事項要目左ノ如シ

- 一 教授要旨及教授細目ヲ整理スルコト
- 一 教科用書ニ關シ提案スルコト
- 一 教授分擔ニ關シ提案スルコト
- 一 教授上ニ要スル教科用書、參考書、器具、機械、標本、藥品、材料等ニ關シ經費豫算ヲ調査スルコト
- 一 前項ノ經費使用ニ關スルコト
- 一 所屬品ノ使用及監守ニ關スルコト
- 一 其ノ他當該學科ニ關スルコト

第四條 主任教授ハ擔當事項ニ關シ關係教官ノ一部若クハ全體ノ協議會ヲ開ク

コトヲ得

第三章 教授會

第一條 校務ヲ諮詢スル爲メ本校ニ教授會ヲ設ク

第二條 本校教授ヲ以テ教授會ヲ組織ス但シ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ助教授又ハ講師ノ一部若クハ全體或ハ其ノ他ノ職員ヲシテ本會ニ列席セシム

第三條 學校長ハ必要ト認ムルトキ教授會ヲ召集シ其ノ議長トナル但シ學校長

事故アルトキハ上席教授之ニ代ル

第四條 教授會ノ記錄ハ教務課ニ於テ之ヲ擔當ス

第四章 教官服務規程

第一節 服務心得

第一條 本校教官ハ官吏服務規律ニ注意スヘシ明治二十年勅令第三十九號參照

第二條 本校ニ本務ヲ奉スル教官ハ學校長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ報酬ノ有無

ヲ問ハス他ノ職務ニ從事スルコトヲ得ス

前項ニヨリ締約及解約ノ場合ニハ遲滞ナク之ヲ届出ツヘシ

第三條 教官ハ本校ニ入學ヲ希望スル者ノ爲メニ特ニ豫備教育ヲ施ス學校等ニ關係スルコトヲ得ス

第四條 公文書類ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ他人ニ示シ又ハ謄寫セシムルコトヲ得ス

第二節 授業心得

第五條 教官ハ本校教育綱領ノ趣旨ヲ體シ常ニ生徒ノ勤惰、操行並ニ學業技藝ノ發達ニ注意シ良ク之ヲ指導センコトヲ努ムヘシ

第六條 教官ノ擔任スヘキ要項左ノ如シ

- 一 擔任學科教授細目ヲ調製スルコト
 - 一 生徒ノ成績ヲ調査スルコト
 - 一 每學期ノ終リニ際シ授業ノ經過並ニ其ノ成績ヲ報告シ教科書又ハ教授細目ノ改善其ノ他將來ノ希望計畫等ニ關シ意見ヲ具申スルコト
 - 一 學校長ノ命ヲ承ケ入學試験其ノ他臨時ノ事務ニ從事スルコト
- 第七條 訓育ニ關スル事務ハ全教官ノ擔任トシ生徒監ヲシテ之ヲ主掌セシム

生徒監ハ訓育ニ關スル事項ニ付關係教官ノ協議會ヲ開クコトヲ得

第八條 授業ノ際ハ毎時間必ス生徒ノ出席、缺席、遲刻等ヲ帳簿ニ記入スヘシ

第九條 生徒ヲ呼稱ズルニハ敬語ヲ省略ス

第十條 授業中ハ參觀人ニ對シ生徒ヲシテ敬禮ヲ爲サシメサルモノトス但シ特ニ注意セラレタル場合ハコノ限ニアラス

第十一條 所定ノ授業時間ヲ變更スル必要アリト認ムルトキハ學校長ニ申告シテ指揮ヲ受クヘシ

第十二條 試験問題ハ其ノ都度學校長ニ申報スヘシ

第十三條 試験ノ答案ハ必要ト認メタル場合ニハ之ヲ生徒ニ還付スヘシ但シ實驗及實習等ノ成績品ハコノ限ニアラス

第十四條 書籍、機械、藥品等ノ購入又ハ修理ヲ要スルトキハ規定ノ請求用紙ニ品名數量年月日等ヲ記入シ主任教授ヲ經テ會計課ニ差出スヘシ

第三節 雜件

第十五條 教官新任ノ際ハ先ツ本校規則ヲ詳覽シ次ノ手續ヲナスヘシ

一 履歷書(本校用紙ヲ用テ)ヲ庶務課ニ差出スコト

一 住所ヲ届出ツルコト

第十六條 本校ヲ經由セスシテ辭令ヲ受ケタルトキ其ノ他身分履歷ニ關係アル事項ハ其ノ都度辭令寫若クハ事項ノ要領ヲ記載シ學校長ニ届出ツヘシ

第十七條 住所ヲ移轉シ又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

第十八條 疾病ニヨリ缺勤セントスルトキハ前以テ其旨届出ツヘシ口頭又ハ電話ニテ届出テタルトキハ更ニ届書ヲ差出スヘシ

但シ病氣缺勤七日以上ニ涉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ會議又ハ式日等ニ缺席ノ場合モ亦前項ニ同シ

第十九條 父母ノ祭日ニ當リ休暇ヲ要スルモノハ前日中ニ届出ツヘシ
忌引届ニハ其ノ親族關係ヲ明記スヘシ

第二十條 轉地療養、父母病氣看護又ハ父母ノ墓參ノ爲メ請暇旅行セントスルトキハ日限及先行先ヲ明記シタル願書ヲ差出シ學校長ノ許可ヲ受クヘシ
賜暇中旅行セントスル場合モ亦前項ニ同シ

前二項ノ場合ニ於テ願書ヲ差出シタル儘許可ヲ待タスシテ職務ヲ離ルルコトヲ得ス

第二十一條 出張ノ命ヲ受ケタルモノハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ届出テ歸校後一週間以内ニ行程及報告書ヲ差出スヘシ但シ簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第二十二條 本校ニ天災其ノ他非常事變アルトキハ速ニ出校スヘシ

第五章 學校醫職務規程

第一條 學校醫ハ學校長ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル職務ニ従事ス

第二條 毎月一回授業時間内ニ出校シ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ

學期學年ノ始終ニ於テ特ニ視察ヲ必要トスルトキ亦同シ

第三條 毎月二回寄宿舎ニ出張シ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ但シ急病ノ者アルトキハ臨時出張シテ之ヲ診察スヘシ

第四條 生徒ノ病症ニヨリ必要アルトキハ其ノ診斷書ヲ作製スヘシ

第五條 學校醫ハ明治三十三年文部省令第四號學生生徒身體檢査規程ニヨリ生

徒ノ身體ヲ検査シ身體検査表ヲ調製スヘシ

第六條 學校寄宿舎若クハ近傍ニ傳染病ノ發生シタルトキハ直ニ消毒法若クハ

豫防法ヲ施行スヘシ

前項ノ場合ニ於テ學校又ハ寄宿舎ノ全部若クハ一部分ノ閉鎖又ハ遮斷ヲ必要

ト認ムルトキハ之ヲ學校長ニ申告スヘシ

第七條 學校醫ハ入學志願者ノ身體ヲ検査スヘシ

第八條 學校醫ハ前各條ノ任務ノ外學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時校員ノ

病症ヲ診斷シ又ハ身體ヲ検査シ其ノ他衛生ニ關スル事務ヲ執ルヘシ

第六章 事務分掌規程

第一條 本校ニ庶務課教務課生徒課會計課圖書課ノ五課ヲ置キ事務ヲ分掌セシ

ム

第二條 各課ニ課長ヲ置キ學校長ノ命ヲ承ケ所屬職員ヲ率ヒ分掌事務整理ノ責

ニ任セシム

課長ハ職員中ニツキ學校長之ヲ命ス

第三條 各課所屬ノ職員ハ課長ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事シ主査セル事項ニ關シ

テハ其ノ責ニ任スヘシ

第四條 庶務課ノ掌ル事務ノ要項左ノ如シ

一、御眞影勅語ノ保管ニ關スル事項

一、官印校印ノ監守ニ關スル事項

一、機密ニ關スル事項

一、職員ノ進退身分及服務ニ關スル事項

一、職員ノ敘位敘勳ニ關スル事項

一、職員ノ願、伺届ニ關スル事項

一、職員ノ出勤調査ニ關スル事項

一、外國留學生ニ關スル事項

一、公文書處理ニ關スル事項

一、規則規程ノ制定改廢ノ審査ニ關スル事項

一、記錄編纂ニ關スル事項

- 一、日誌一覽統計諸報告ノ調製ニ關スル事項
- 一、法令官報諸規則ノ整理保存ニ關スル事項
- 一、祝祭日儀式ニ關スル事項
- 一、博覽會ニ關スル事項
- 一、當直ニ關スル事項
- 一、參觀人取扱ニ關スル事項
- 一、他ノ課ニ屬セル一切ノ事項

第五條 教務課ノ掌ル事務ノ要項左ノ如シ

- 一、講堂教室設備及教具ニ關スル事項
- 一、學科課程及教授細目ニ關スル事項
- 一、教官ノ分擔及時間割ニ關スル事項
- 一、授業及休業ニ關スル事項
- 一、教科用書ニ關スル事項
- 一、生徒募集入學試驗ニ關スル事項

- 一、試驗ニ關スル事項
 - 一、成績調査進級卒業ニ關スル事項
 - 一、成績證明ニ關スル事項
 - 一、教官ノ報告ニ關スル事項
 - 一、教授會科長會ニ關スル事項
 - 一、會議室教官室ニ關スル事項
 - 一、修學旅行及校外實習ノ爲メ生徒派遣ニ關スル事項
- 第六條 生徒課ノ掌ル事務ノ要項左ノ如シ

- 一、生徒訓育ニ關スル事項
- 一、生徒ノ風紀及管理ニ關スル事項
- 一、生徒ノ服裝ニ關スル事項
- 一、生徒ノ勤惰ニ關スル事項
- 一、生徒ノ出缺席調査ニ關スル事項
- 一、學級總代ニ關スル事項

- 一、生徒ノ學籍ニ關スル事項
 - 一、退學及休學ニ關スル事項
 - 一、在學證明ニ關スル事項
 - 一、生徒控所ニ關スル事項
 - 一、寄宿舎ノ監督ニ關スル事項
 - 一、寄宿舎賄方ニ關スル事項
 - 一、生徒宿泊所及保證人ニ關スル事項
 - 一、生徒ノ願、伺届ニ關スル事項
 - 一、學校衛生及身體檢查ニ關スル事項
 - 一、體育及運動ニ關スル事項
 - 一、卒業生ニ關スル事項
 - 一、其ノ他生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事項
- 第七條 會計課ノ掌ル事務ノ要項左ノ如シ
- 一、歳入歳出豫算決算ニ關スル事項

- 一、金錢ノ收支保管ニ關スル事項
 - 一、物品ノ出納保管及證明ニ關スル事項
 - 一、實驗製品ノ出納及保管ニ關スル事項
 - 一、寄贈物品ノ受入及保管ニ關スル事項
 - 一、官有財産及資金ニ關スル事項
 - 一、校他校舎ノ營繕ニ關スル事項
 - 一、防火、雪除、給水、電燈、暖房裝置及通信器ニ關スル事項
 - 一、校内一般ノ警備取締ニ關スル事項
 - 一、校舎内外ノ洒掃ニ關スル事項
 - 一、守衛小使給仕ノ進退及取締ニ關スル事項
 - 一、職工ニ關スル事項
 - 一、職員ノ食堂ニ關スル事項
- 第八條 圖書課ノ掌ル事務ノ要項左ノ如シ
- 一、圖書ノ出納整理保管ニ關スル事項

一、圖書印章ノ監守ニ關スル事項

一、書庫及閱覽室ノ整理取締ニ關スル事項

一、圖書ノ貸付ニ關スル事項

一、圖書目錄編纂ニ關スル事項

一、新聞雜誌類ノ整理及保存ニ關スル事項

第九條 各課ノ主掌事務ニシテ他ノ課ニ關聯スルモノハ合議スヘシ

第十條 所屬不明ノ事務アルトキハ學校長ノ指揮ニ從ヒ之ヲ處理スヘシ

第十一條 卒業式及記念日ニ關スル事項ハ各課ニ於テ分擔セシム

第十二條 學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ本章ノ規程ニ拘ラス臨時事務ノ取

扱ヲ命スルコトアルヘシ

第七章 文書處理規程

第一條 公文書ハ本章第十條ニ依ルモノノ外總テ庶務課ニ接受シ受付簿ニ登記

シ收受ノ番號及月日ヲ記入スヘシ

親展書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ

第二條 庶務課長ハ前條第一項ノ文書ニ檢印シ左ノ様式ノ帳簿ニヨリ速ニ之ヲ

主管ノ課ニ配付スヘシ

(様式ハ略之)

二課以上ニ關係アル文書ハ其ノ重キニ從ヒ配付スヘシ

第三條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ課ノ主管ニ屬スルモノアルトキハ庶務

課ニ還付スヘシ

第四條 各課ニ於テハ配付セラレタル文書ノ主査ヲ定メ速ニ之ニ對スル立案ヲ

ナシ合議決裁ノ手續ヲナスヘシ

事件ノ種類ニヨリ直ニ處分案ヲ提出シ難キモノ又ハ處分ヲ要セスト認ムルモ

ノアルトキハ學校長ニ供閱シ指揮ヲ受クヘシ

第五條 各課所屬ノ職員ハ左ノ様式ノ帳簿ヲ控ヘ主査セル件名ヲ記錄スヘシ

(様式ハ略之)

第六條 發送スヘキ文書ハ總テ庶務課ニ回付スヘシ但シ執務時間以外ニ於テハ

當直ニ回付スヘシ

第七條 各部ニ於テ發送スル文書ハ總テ庶務課件名簿ノ番號ヲ逐フモノトス

第八條 公文書ハ學校長名或ハ校名ヲ以テスルモノハ勿論各課ヨリ發送スルモノト雖モ悉ク決裁ヲ經ルヲ要ス

第九條 處分完了シタル文書ハ主管ノ課ニ於テ事項ノ種類ニヨリ之ヲ類別シ各類毎ニ年月ノ順ヲ逐ヒ件名目次ヲ附シ整理保存スヘシ

第十條 左ノ文書ハ主管ノ課ニ於テ直ニ接受スヘシ

一、教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

一、生徒ヨリ差出ス願届書類

一、其ノ他學校長ノ指定シタル書類

第十一條 文書處理ノ齊一整頓ノ爲メ毎年一回檢閲ヲ行フ文書檢閲委員ハ職員中ニツキ其ノ都度之ヲ命ス

第十二條 機密ニ關スル文書ノ取扱ハ本章ノ規程ニ依ラサルコトアルヘシ

第十三條 諸文書ノ保存期限ハ別ニ之ヲ定ム

第八章 寄宿舍例規

第一節 編制

第一條 各科各學年ノ生徒ヲ適宜各室ニ配當ス

第二條 各室人員ノ配當ハ每學年ノ始ニ於テ之ヲ定ム

第三條 各室ニ總代一名ヲ置キ室員ノ互選ニヨリテ之ヲ定メ其ノ任期ヲ一學期間トス

總代事故アルトキハ臨時代理者ヲ定メ之ヲ生徒監ニ届出ツヘシ

第四條 寄宿舍ニ舍長若干名ヲ置キ其ノ任期ヲ一學期間トス舍長ハ寄宿舍生徒ノ互選ニヨリ倍數ノ候補者ヲ推薦セシメ其中ニツキ學校長之ヲ命ス但本文ノ例ニ據リ難キトキハ生徒監之ヲ定ム

第五條 舍長事故アルトキハ生徒監臨時舍長ヲ命シ其ノ事務ヲ代理セシム

第二節 役員ノ任務

第六條 舍長及總代ハ協議會ヲ組織シ生徒監ノ命令指導及監督ヲ受ケ寄宿舍規則第一條ノ趣旨ヲ貫徹センコトヲ謀ルモノトス

第七條 協議會ノ議事ハ舍長之ヲ整理スルモノトス

第八條 協議會ハ毎月一回之ヲ開クモノトス但シ必要アルトキハ生徒監ノ許可ヲ受ケ臨時開會スルコトヲ得

第九條 協議會ノ決議ハ生徒監ニ申報シ其ノ許可ヲ得テ之レヲ實施スルモノトス

第十條 總代ノ任務要項左ノ如シ

- 一、 室員ノ風紀振肅ヲ圖ルコト
- 一、 室内ノ清潔整頓ヲ圖ルコト
- 一、 諸達命令ヲ室員ニ傳達シ之カ實施ノ責ニ任スルコト
- 一、 室内ノ諸備品及臨時外泊生ノ所有品ヲ保管スルコト
- 一、 破損ノ箇所又ハ物品ノ修理手續ヲナスコト
- 一、 定例大掃除ノ後生徒監及校醫ノ檢閲ヲ受クルコト
- 一、 室員病氣ノ時看護ノ手配ヲナスコト
- 一、 火ノ元及戸締ニ注意スルコト
- 一、 室員ノ願届書等ヲ取扱フコト

第十一條 舍長ノ任務要項左ノ如シ

- 一、 寄宿舍全般ノ風儀紀律ノ振肅ヲ圖ルコト
- 一、 寄宿舍各部ノ清潔整頓衛生ニ注意スルコト
- 一、 諸達命令ヲ各室總代ニ傳達シ其ノ實施ヲ取締ルコト
- 一、 消燈後寄宿舍各部ヲ巡視シ火ノ元及戸締ニ注意スルコト
- 一、 共同物品ヲ整理スルコト
- 一、 大掃除ノ後下檢査ヲナスコト
- 一、 舍長日誌ヲ擔當シ協議會ノ議事其ノ他重要ノ事項ヲ記錄スルコト

第三節 生徒心得

第十二條 寄宿舍ノ日課時限ハ振鈴ヲ以テ之ヲ報ス其ノ時限略ホ左ノ如シ

月	起	床	朝食	晝食	夕食	默習	消燈
一、二、三、十、十一、十二、	午前六時三十分	自午前七時至同七時三十分	自午前十一時三十分至午後一時	自午後四時三十分至同六時	自午後七時至同十時	午後十時三十分	

四、五、六、	自午前六時三十分	自午前十一時三十分	自午後五時三十分	自午後七時
七、九、	午前五時三十分	同 七 時	午後 一 時	同 七 時
			至同十時	午後十時三十分

第十三條 毎朝起床後室内ヲ掃除シ又毎月二回室員全體ニテ大掃除ヲ行ヒ室内及周圍各部ヲ洒掃整頓スヘシ

第十四條 舍内ノ履物ハ上草履ノ外用フヘカラス

第十五條 外出時限ハ授業時間及特ニ在舍ヲ命シタル場合ノ外平日ハ朝食後ヨリ夕食時限後一時間休日ノ前後ハ午後九時マテトス

第十六條 外出中止ムヲ得サル事故アリテ歸舍時限ニ後レタルトキハ其ノ事實ヲ證明スヘキ書面ヲ生徒監ニ差出シ指揮ヲ受クヘシ

第十七條 出入ノ際ハ各自名札ヲ表裏スヘシ

第十八條 左ノ場合ニハ願書ヲ差出シ許否ヲ待ツヘシ

一、 寄宿舎規則第五條ニヨリ歸省若クハ外泊セントスルトキ(學校長宛)

一、 規定時間外臨時外出セントスルトキ(生徒監宛)

一、 學友ノ病氣看護ノ爲缺課セントスルトキ(生徒監宛)

第十九條 左ノ場合ニハ願書ヲ差出スヘシ

一、 忌服ヲ受クルトキ(學校長宛)

一、 病氣ノ爲缺課若クハ就褥セントスルトキ(生徒監宛)

一、 歸省旅行若クハ外泊先ヨリ歸舍シタルトキ(生徒監宛)

一、 金錢物品等ノ紛失シタルトキ(時日員數等ヲ詳記シ速ニ生徒監宛)

第二十條 疾病ニ罹リタルモノアルトキハ本人又ハ總代ヨリ生徒監ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ

第二十一條 外來者ニ面會スルニハ應接所ニ於テスヘシ但シ病氣其ノ他止ムヲ得サル場合ニハ生徒監ノ許可ヲ受ケ自室ニ誘引スルコトヲ得

第四節 炊事規程

第二十二條 炊事ニ關スル事務ハ寄宿舎生徒ノ互選セル委員ヲシテ生徒監ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處理セシム

委員ノ人數及任期ハ別ニ之ヲ定ム

第二十三條 生徒監ハ本節ノ規程ニヨリ炊事ニ關スル全般ノ事務ヲ指揮監督ス

第二十四條 炊事委員ノ任務要項左ノ如シ

一、 毎週炊事献立表ヲ調製スルコト

二、 炊事需用品ヲ購入スルコト

三、 炊夫ヲ監督スルコト

四、 日々費食ノ收支決算ヲナスコト

第二十五條 寄宿舎生徒ノ異動ヲ明細ニ調査スルコト

第二十六條 本校會計課長ハ毎月十五日マテニ寄宿舎生徒ヨリ所定ノ食費ヲ徴

收シ生徒監ノ名ヲ以テ兩羽銀行米澤支店ニ預ケ入ルヘシ

第二十七條 寄宿舎生徒引續キ六回以上缺食シタルトキハ日割ヲ以テ既納ノ食

費ヲ返付スヘシ但シ缺食三回ヲ一日分トシテ計算シ端數ハ之ヲ算入セス

第二十八條 食費ノ返付備人料ノ支給並ニ購入品代價ノ支拂ハ生徒監銀行小切

手ヲ以テ之ヲ行フモノトス

第二十九條 前條ノ返付支給及支拂ハ翌月上旬ニ於テスルモノトス但シ生徒監

ニ於テ特ニ必要ト認メタル場合ハコノ限ニ非ス

第三十條 生徒監ハ毎月末決算報告書、日々配膳明細簿、購入品代價請求書、食費返

付受領書、備人料受領書、並ニ支拂小切手ヲ調査シ承認ノ證トシテ捺印シ日々配

膳明細簿ハ炊事委員ニ其ノ他ノ書類ハ本校會計課長ニ直ニ之ヲ廻付スヘシ但

シ生徒監ノ認印ナキ書類ハ總ヘテ無効トス

第三十一條 會計課長ハ前項ノ支拂ニ付意見アルトキハ之ヲ學校長ニ申告スヘシ

第三十二條 炊事委員ノ整理保管スヘキ帳簿及書類左ノ如シ

一、 需用品購入簿

二、 需用品支給簿

三、 收支決算簿

四、 日々配膳明細簿

五、 其ノ他必要書類

第三十二條 生徒監ノ整理保管スヘキ帳簿及書類左ノ如シ

- 一、請求認可控簿
- 一、日々收支決算報告綴
- 一、備人料支給簿
- 一、人員異動簿
- 一、欠食者食費拂戻明細簿
- 一、其ノ他必要書類

第九章 學業成績調查規程

- 第一條 本校細則第三章ニ基ツキ學業成績調查規程ヲ定ムルコト左ノ如シ
- 第二條 臨時試験ハ擔當教官ノ見込ニヨリ日課時間ニ於テ臨時ニ之ヲ施行ス
- 第三條 定期試験ハ各學期ノ終リ(學期ノ終日)前約十日頃ヨリニ於テ特ニ試験日課表ヲ定メテ之ヲ施行ス
- 第四條 各科目ノ學期成績ハ各學期末ニ於テ該學期內ニ施行シタル定期試験又ハ臨時試験ノ成績、論文ノ成績若クハ平素ノ成績ヲ參按シ教官ノ見込ヲ以テ之

- ヲ評定シ教務課ニ回付スヘシ
- 學科ノ種類ニヨリ學校長ノ承認ヲ得テ每學期末定期試験ヲ略シ學年末又ハ該學科修了ノ際ニ於テ試験ヲ施行シ其ノ成績ヲ評定スルコトアルヘシ
- 學期成績表ハ科長及理事之ヲ調査シ成績不良ノ者アルトキハ科長、理事又ハ擔當教官ヨリ本人ニ必要ナル注意ヲ與フヘシ
- 第五條 各科目ノ學年成績ハ該科目各學期成績ヲ平均シテ之ヲ表ハスモノトス但シ擔當教官ノ見込ニヨリ各學期成績ニ異ナル係數ヲ付シテ平均スルコトアルヘシ
- 第六條 定期試験ノ答案ハ調査ノ後試験問題ト共ニ之ヲ教務課ニ回付スヘシ
- 第七條 各教官ヨリ生徒ノ學業成績ヲ提出スルニハ點數ヲ以テスルモノトス
- 第八條 定期試験ニ缺席シテ追試験ヲ受ケサルトキハ其ノ評點ヲ零點トス但シ特別ノ事情アルトキハ詮議ノ上當該學科目ニツキ該級生徒ノ平均得點以下ノ評點ヲ與フルコトアルヘシ
- 第九條 臨時試験ニ缺席シタルモノノ成績ハ平素ノ成績ヲ參按シ擔當教官ノ見

込ニヨリテ之ヲ定メ又ハ退試験ヲ行フコトアルヘシ

第十條 學期成績及學年成績ハ之ヲ左表ノ如ク類別調査スルモノトス

簿經 記濟	機應 械用	圖 畫	製 圖	物 理	數 學	英 語	修 身	第一類		
								學科目	教授項目	教官
								色	染	科
								紡	織	科
								應	用	化
								機	械	科
								機	械	科

織 物	分 析	講 義	化 學	色 染	色 染	第 一 類	體 操	小 計	平 均 點	席 次	第二類		
											簿工 記業	經 濟	工 業
						同					機	織	科
						同					機	織	科
						同					機	織	科
						同					機	織	科
						同					機	織	科

席次	平均點	第二類 小計	仕上			組織		原料及 計算	解剖	分析	製造 機械	工場 實習	講義 製圖
			講義	實習	機械	織機	組織						
同上	同上	同上											
同上	同上	同上											
同上	同上	同上											
同上	同上	同上											
同上	同上	同上											
同上	同上	同上											
同上	同上	同上											

本表中學科目ノ欄ニ記入セルモノヲ各一科目トシ之ヲ其ノ次ノ欄ニ記入セル各項ニ分ツモノトス
一科目ノ評點ハ滿點ヲ一百點トシ之ヲ項ニ分テ教授スル場合ニハ各項ニ

ツキ評點ヲ付シ之ヲ平均シテ其ノ科目ノ成績トス

一學期又ハ學年ノ中途ニ於テ教授項目ヲ變更スル場合ニハ前後ヲ通シ一項トシテ評點ヲ付スルモノトス

一項目ヲ數人ニテ分擔スル場合ニハ各教官ノ評點ヲ平均シテ其ノ項ニ對スル評點トス

本表中學科目第一類第二類ノ平均點ハ各類ニ於ケル各科目ノ得點ヲ平均シタルモノトス但シ某科目ニ若干ノ係數ヲ付シテ平均點ヲ算出スルコトアルヘシ

成績表ニハ各學科各教授項目ニ對スル授業時間數並ニ生徒出席日時數等ノ調査表ヲ附スルモノトス

第十一條 學年成績會議ニ於テハ學年成績表ニツキ各科目並ニ各類ノ成績ヲ甲乙丙丁戊ノ五等ニ評定シ兼ネテ各類ニ於ケル席次ヲ定ムルモノトス但シ其ノ評定ハ大約次ノ標準ニヨル

甲 八十點以上

- 乙 七十九點以下七十點以上
- 丙 六十九點以下六十點以上
- 丁 五十九點以下五十點以上
- 戊 四十九點以下

第十二條 各科ノ卒業成績ハ本章第十條ノ例ニヨリ各科目ヲ類別シテ其ノ成績ヲ調査スルモノトス

卒業成績表ニハ各科目ニツキ各學年ノ成績ヲ列舉シ各科目ノ卒業成績ハ各學年ニ於ケル成績ヲ平均シテ之ヲ表ハシ各類ノ卒業成績ハ其ノ類ニ屬スル各科目各學年ノ成績ヲ平均シタルモノトス

第十三條 卒業成績會議ニ於テハ卒業成績表ニ付キ各科目並ニ各類ノ成績ヲ本章第十一條ノ例ニヨリ甲乙丙丁戊ノ五等ニ評定シ兼ネテ各類ニ於ケル席次ヲ定ムルモノトス

第十四條 研究科並ニ撰科ノ成績調査ハ總テ本規程ニ準スルモノトス

第十章 入學試驗成績調査規程

第一條 入學試驗ニ於ケル各學科目ノ試驗時間數ヲ定ムルコト左ノ如シ

國語	漢文	三時間
英語	語	三時間
數學	學	四時間
物理	理	二時間
化學	學	二時間
圖畫	畫	四時間

二條 成績表ニハ左ノ標準ニヨリテ算出シタル各學科目ノ點數並ニ總點數ヲ登載スルモノトス

(一) 國語漢文(一〇〇)

國語	解釋	一〇〇
國語	作文	一〇〇
漢文	一〇〇	一〇〇
漢文	一〇〇	一〇〇

(二) 英語(二〇〇)

英文和譯……………一〇〇

和文英譯……………一〇〇

文法……………一〇〇

(三) 數學(二〇〇)

算術……………一〇〇

代數……………一〇〇

幾何……………一〇〇

三角……………一〇〇

(四) 物理(二〇〇)

(五) 化學(二〇〇)

(六) 圖畫(二〇〇)

自在畫……………一〇〇

用器畫……………一〇〇

第三條 成績表ニハ前條點數ノ外左ノ事項ヲ登載スルモノトス

(一) 試問ノ成績

甲乙丙丁

(二) 戶籍關係

可、不可

(三) 身體檢查ノ成績

甲乙丙

(四) 第二志望學科

(五) 出身學校

第四條 入學ヲ許可セントスル候補者ニ就キテハ更ニ既往ノ學業成績ヲ調査シ

テ之ヲ參考スルモノトス

第五條 學校長ハ毎年十二月ニ於テ入學試驗委員ヲ命ス

第六條 入學ヲ許可スヘキ者ハ入學試驗委員ノ總會議ニ於テ之ヲ評議シ學校長

之ヲ決定スルモノトス

第十一章 物品會計細則

第一節 請求購入、受入

第一條 物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ物品ノ出納保管ニ關シ細則ヲ定ムルコト左ノ如シ

第二條 各部ニ於ケル所要物品ハ規定ノ様式ニ依リ其ノ品目、數量、用途ヲ明記シ會計課ニ請求スヘシ

製作及修理ニ特別ノ注意ヲ要スルモノハ仕様書及圖案ヲ添フヘク又當事者ヲ撰擇スル必要アル物品ニ付キテハ事由ヲ明カニシテ該當事者ヲ指名スヘシ

第三條 物品會計官吏ハ日常各部ニ於テ共通ニ費消シ又ハ使用スル物品ニツキ一會計年度内ニ要スル數量ヲ概算シ其ノ年四月五日迄ニ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

前項ノ物品ハ臨時委員ヲ命ジテ物品ノ品質及購入ノ方法ヲ考查セシメ會計課ニ於テ之ヲ一回又ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲナスヘシ但シ本項ニ依リ難キ物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ都度學校長ノ許可ヲ受ケ購入ノ手續ヲナス

ヘシ

第四條 受入物品ハ總テ物品會計官吏ニ於テ藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第五條 物品會計官吏ハ各部主任ヨリ物品ノ修理若クハ引換ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ニ經伺ノ上其ノ手續ヲナスヘシ

第六條 各科ニ於ケル實習製作品ハ當該科長ニ於テ製作品授受簿ニ其ノ品名、數量、評定價額、製作者及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

物品會計官吏前項ノ引繼ヲ受ケントスルトキハ之ヲ學校長ニ上申シ受入命令ヲ待チテ藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ但シ拂下ノ場合ハ製作品拂下命令簿ニ依リ之カ手續ヲナスヘシ

寄贈品ニツキテハ物品會計官吏ニ於テ品名、數量及其ノ評價ヲ付シ學校長ニ上申シ受入命令ヲ待チテ藏置若クハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第二節 登錄、支給、保管

第七條 物品會計官吏ノ受入レタル物品ハ總テ所定ノ出納簿ニ登錄シ備品ニアリテハ現品ニ番號若クハ票札ヲ附スヘシ番號若クハ票札ヲ附シ難キモノハ適

當ノ方法ニヨリ之ヲ整理スヘシ

前項ノ物品ヲ支給セントスルトキハ備品ニアリテハ備品支給簿ヲ以テ消耗品

ニアリテハ所定ノ證書ニ受領印ヲ徴シ請求者ニ配付スヘシ

圖書ニツキテハ圖書課長ニ於テ別ニ一定ノ番號ヲ附スヘシ

第八條 本條所屬ノ物品中器具機械圖書及標本ハ之ヲ備品トシ其ノ他ハ之ヲ消耗品トシテ分類整理スルモノトス

第九條 本校各部ノ主任ハ所屬物品監守ノ責ニ任スヘシ但シ會計課ニツキテハ其ノ課員中ニツキ特ニ物品取扱主任ヲ選任シ會計課所屬物品ノ監守ヲ命スルコトアルヘシ

物品監守者ハ物品ノ配付ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ備品監守簿又ハ消耗品受拂簿ニ登記シ物品會計官吏ニ對シテハ所定ノ帳簿若クハ證書ニ捺印シテ遲滯ナク領收ノ手續ヲナスヘシ

第十條 各部物品監守者ハ監守ノ事務ニ關シテハ當該部所屬職員ヲシテ之ヲ補助セシムルコトヲ得但シ直接ニ事務ヲ扱ハサルノ故ヲ以テ其ノ監守ノ責ヲ免

ルルコトヲ得ス

第十一條 本校各部物品監守者ノ監守シ又ハ取扱フヘキ物品ノ所屬區域ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 物品監守者ハ其ノ監守ノ物品ヲ相互直接ニ保管轉換ヲ爲スコトヲ得ス物品會計官吏ヲ經テ現品ノ受渡ヲナスヘシ

第十三條 物品監守者交迭ノトキハ新舊監守者立會ノ上物品監守簿ト現品トヲ照合シテ受繼ノ事由及年月日ヲ明記シ記名捺印スヘシ

第十四條 物品監守者ハ不用トナリタル物品アルトキハ之ヲ物品會計官吏ニ返付シ其ノ監守簿ニ物品會計官吏ノ受領證印ヲ徴シ備考欄ニ其ノ事由年月日ヲ詳記スヘシ

第十五條 使用ノ爲メ自然ニ毀損シ修理又ハ引換ヲ要スル物品アルトキハ其ノ監守者ハ現品ヲ添へ物品會計官吏ニ返付ノ手續ヲナシ修理又ハ引換ヲ請求スヘシ

第十六條 物品會計官吏ハ毀損品ニシテ修理ノ見込ナシト認メタルモノ又ハ不

用品ニシテ將來所要ノ用途ナシト認メタルモノアルトキハ其ノ處分案ヲ付シ
學校長ノ決裁ヲ乞フヘシ

第十七條 物品ノ票札ヲ汚損シ若クハ紛失セルコトヲ發見シタルトキハ該物品
監守者ハ直ニ物品會計官吏ニ票札ノ貼替又ハ貼付ヲ請求スヘシ

第十八條 物品ヲ毀損或ハ紛失シタルトキハ該物品監守者ハ其ノ品名、數量、番號
ヲ取調ヘ始末書ヲ具シ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ
前項ノ場合ニ於テハ文部省直轄各部物品會計規則第十三條ニ依リテ之ヲ處分
スヘシ

第十九條 使用中ノ物ハ物品會計官吏左記ノ各項ニヨリ之ヲ監督スヘシ

- 一、 備品ハ毎年一回備品出納簿ト各部監守簿トヲ對照シ更ニ監守簿ト現品ト
ヲ照査スルコト
- 二、 消耗品ハ隔月一回消耗品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ對照シ更ニ受拂簿ト
現在品トヲ照査スルコト
- 三、 前二項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用法

等ニツキ意見アルトキハ學校長ニ申告シテ其ノ處理ヲ求ムルコト

第三節 帳簿

第二十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスルタメ左ノ帳簿ヲ備フヘ
シ

- 一、 備品出納簿
右ハ機械圖書標本以外一切ノ備品ニツキ品目、數量、番號、價格、納人等ヲ登記シ
又在庫並ニ使用物品ノ現在ヲ明カニスルモノトス
- 二、 圖書出納簿
右ハ本校所屬一切ノ圖書ニツキ圖書名、著者名、冊數、價格、納人等ヲ登記シ且ツ
圖書ノ出納ヲ明カニスルモノトス
- 三、 機械標本類出納簿
右ハ機械及標本類ヲ別テ學科毎ニ口座ヲ設ケ品目、個數、價格、納人等ヲ登記
シ且ツ機械標本ニ屬スル物品ノ出納ヲ明カニスルモノトス
- 四、 消耗品出納簿

右ハ消耗品ノ品目、數量、價格、納人等ヲ登記シ且ツ在庫並ニ拂渡高ヲ明カニスルモノトス

五、製作品受拂簿

右ハ本校各工場製作品ニツキ其ノ品目、數量、評定、價格、受拂事由等ヲ登記シ且ツ其ノ出納ヲ明カニスルモノトス

六、寄贈品受拂簿

右ハ寄贈品ノ品目、數量、評定、價格、寄贈者、受拂事由等ヲ登記シ且ツ其ノ出納ヲ明カニスルモノトス

七、備品支給簿

右ハ各部ニ交付シタル一切ノ備品ニ付品目、數量、番號、受拂、年月日等ヲ登記シ物品監守者ト物品會計官吏トノ受授ヲ明カニスルモノトス

第二十一條 物品監守者ハ各自保管スル物品ノ出納ヲ明カニスルタメ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一、備品監守簿

右ハ備品ノ品目、個數、番號、及受授ノ年月日等ヲ明記スヘシ但シ圖書、機械、標本ニ關スル監守者ハ備品原簿ヲ備ヘ監守簿ニ代用スルモノトス

二、消耗品受拂簿

右ハ消耗品(實習材料及製作品ヲ含ム)受拂ヲ明記スルモノトス

三、郵便切手受拂簿

文書發送ノコトヲ取扱フモノハ右ノ帳簿ヲ備ヘ郵便切手類ノ受拂ヲ詳記スルモノトス

第四節 檢 閲

第二十二條 本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ本校所屬物品ノ保管及使用ノ方法ノ適否ヲ檢査セシム

第二十三條 物品檢閲委員ハ委員長一人委員若干トシ毎年七月學校長之ヲ命ス其ノ任期ハ翌年六月ニ終ルモノトス

物品檢閲ハ毎年七月時日ヲ定メテ之ヲ施行ス但シ別ニ臨時檢閲セシムルコトアルヘシ

第二十四條 物品檢閲ノ際物品會計官吏及物品監守者ハ現品及簿冊ヲ取揃ヘ其
 席ニ列シテ點檢ヲ受クヘシ

第二十五條 物品檢閲委員檢閲ヲ了リタルトキハ其ノ顛末ヲ具シ意見ヲ附シテ
 學校長ニ申報スヘシ

第十二章 圖書取扱規程

第一條 本校所藏ノ圖書ハ圖書課員ノ外之ヲ取扱フコトヲ得ス

第二條 教官ハ書庫ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得

第三條 本校細則第七章第三條ニヨリ特別ノ場所ニ備付クル圖書ニ關シテハ當
 該主任教授若クハ課長之カ監守ノ責ニ任ス

第四條 教官ハ一員十二冊其ノ他ノ職員ハ一員六冊ヲ限リ圖書ヲ借受クルコト
 ヲ得但シ和漢裝ノモノハ本文冊數ヲ倍スルコトヲ得

第五條 左ノ圖書ハ之ヲ借受クルコトヲ得ス

一、貴重圖書

一、閱覽室備付ニ缺クヘカラサル圖書

一、同一ノ圖書二部以上

第六條 圖書ヲ借受ケントスルモノハ圖書課ニツキ所定ノ手續ヲナスヘシ借受
 ケタル圖書ハ轉貸スヘカラス

第七條 借受ケタル圖書ハ毎年七月初旬所定ノ期日ニ於テ一旦悉皆返納スヘシ
 但シ時宜ニヨリ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第八條 圖書閱覽室ハ左ノ期日ノ外之ヲ開ク

- 一、八月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル間
- 一、十二月二十八日ヨリ一月五日ニ至ル間
- 一、祝祭日及本校記念日
- 一、毎週日曜日

前項ノ外臨時閉室スルコトアルヘシ

圖書閱覽室開閉ノ時限ハ其ノ時々之ヲ定ム

第九條 圖書ヲ閱覽セントスルモノハ所定ノ用紙ヲ用ヒテ一切ノ手續ヲ了シ係
 員ニ差出スヘシ但シ書庫備付ノ圖書ト雖モ時宜ニヨリ閱覽ヲ拒絕スルコトア

ルヘシ

第十條 閱覽者ハ一時ニ五冊(和漢裝ノモノハ倍數)以上ヲ借覽スルコトヲ得ス

第十一條 本校ノ職員生徒ニ非スシテ圖書閱覽ノ許可ヲ與ヘタルモノニハ圖書

閱覽特許證ヲ交付ス

閱覽特許證ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ速ニ圖書課ニ届出ツヘシ特許證ヲ他

人ニ貸與スルコトハ一切之ヲ禁ス

第十二條 閱覽者ハ閱覽者心得ヲ遵守スヘシ

閱覽者心得ハ別ニ之ヲ定ム

第十三章 委託圖書取扱規程

第一條 閱覽ニ供スル目的ヲ以テ一箇年以上本校圖書館ニ圖書ノ保管ヲ委託セ

ントスルモノハ其ノ書目、著者、價格及員數等ヲ詳記シ學校長ノ許諾ヲ經ヘシ

第二條 委託者前條ノ許諾ヲ得タルトキハ該圖書ヲ本校圖書館ニ送致シ本校ノ

受託證ヲ受クヘシ

第三條 委託圖書ニハ見易キ標記ヲ付シテ何人ノ委託セルカヲ明カニスヘシ

第四條 委託圖書ハ本校所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナス但シ本校圖書ニ關スル

規則規程ニ差支ナキ限リニ於テ委託者ノ希望ヲ容ルルコトアルヘシ

第五條 圖書課長ハ本校物品會計細則ニ準シ委託圖書出納簿及監守簿ヲ設ケ委

託圖書保管ノ責ニ任スヘシ

第六條 委託圖書火災盜難其ノ他避クヘカラサル災害ニ罹リ損失ヲ來スコトア

リトモ一切之ヲ辦償セス

第十四章 事務員服務規程

第一條 本校事務員ノ執務時間ハ各官廳ノ例ニヨル但シ必要ト認ムルトキハ之

ヲ變更シ又ハ晝夜ニ拘ラス勤務セシムルコトアルヘシ

第二條 出勤ノ際直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第三條 出勤ノトキハ洋服若クハ袴ヲ着用スヘシ

第四條 本校處務及服務規程第四章第一節及第三節各條ノ規定ハ之ヲ事務員ノ

服務ニ準用ス

第五條 事務員ハ輪番ヲ以テ本校ニ當直スヘシ

第六條 當直ノ勤務時間ハ事務員退出時間ヨリ翌朝事務員出勤時間マテトス但シ休業日ハ午前八時ヨリ翌日午前九時マテトス

第七條 當直ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ス

第八條 當直ノ任務要項左ノ如シ

- 一、校舎各室ノ鎖鑰ヲ監守スルコト
- 一、守衛ヲ監督シ校舎内外ノ取締ヲナスコト
- 一、火災ノ虞アル場所ト物品トニ對シ特ニ注意スルコト
- 一、教官ヨリ缺勤ノ届出アルトキハ直ニ之ヲ生徒ニ告示スルコト
- 一、祝祭日等ニ於テ國旗ヲ掲ケシムルコト
- 一、其ノ他臨時事項ニツキ緩急ヲ計リ之ヲ處理スルコト

第十五章 備人勤務規程

第一節 通則

第一條 毎朝出勤シタルトキハ直ニ出勤簿ニ捺印スヘシ
第二條 疾病ノ爲メ又ハ已ムヲ得サル事故アリテ缺勤スルトキハ出勤時限マテ

ニ届出ツヘシ

第三條 本校ヨリ支給スル制服ヲ着用シ容儀ヲ正シウスヘシ

第四條 備人ハ各其ノ上官ノ指揮ヲ承ケ忠實ニ所定ノ勤務ニ従事スヘシ

第五條 野卑喧噪ノ動作ヲ慎ミ何人ニ對シテモ鄭重懇切ヲ旨トシ苟モ傲慢ノ風アルヘカラス

第六條 已ムヲ得サル場合ノ外ハ詰所へ他人ヲ導クヘカラス又猥リニ詰所ヲ離ルヘカラス

第七條 備人勤務ノ定時間ハ午前七時ヨリ午後五時マテトス但シ特別ニ出勤時間ヲ定メタルモノハコノ限ニアラス

守衛及小使宿直ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 公用繁劇ノ場合ニハ規定時間ト雖モ居残り勤務スヘキモノトス

第九條 風雨震災等非常ノ異變アルカ又ハ本校或ハ本校近傍ニ出火アルトキハ非番ノ者ト雖モ速ニ參校シ職員ノ指揮ニ從フヘシ

第十條 本章ノ規程ニ違背シタル者若クハ怠慢不注意ノ爲校地ノ風致ヲ害シ取

締ヲ亂リ又ハ校舎ヲ汚損シ校具ヲ紛失或ハ毀損シタルモノハ其ノ情狀ニヨリ
輕キハ一ヶ月以内日給半額ヨリ多カラサル範圍ニ於テ減給シ重キハ相當ノ辨
償ヲ命ジテ直ニ解雇スヘシ

第二節 守衛

第十一條 守衛ノ勤務左ノ如シ

- 一、校門開閉ノコト
- 二、校門出入者監視ノコト
- 三、本校校舎内外巡邏警戒ノコト
- 四、各室ノ鎖鑰ヲ監守スルコト
- 五、非常用具類整理ノコト
- 六、諸定時號音ノコト
- 七、郵便函取扱ノコト
- 八、臨時人夫監督ノコト
- 九、右ノ外時々ノ命令ヲ執行スルコト

第十二條 校門ノ開閉ハ左ノ時限ニ依ルヘシ

正門及正面ノ通用門ハ三大節本校記念日及平日ニハ午前六時之ヲ開キ午後五
時之ヲ閉ツヘク祭日ニハ右ノ時限ニヨリ正門ノミヲ開閉スヘシ

側門及裏門ハ平素ハ之ヲ閉チ命令ヲ待チテ之ヲ開閉スヘシ

第十三條 何レノ門ヲ問ハス之ヲ開キタルトキハ少ナクモ一人ノ守衛ハ其ノ通

行者ヲ監視スヘシ

普通携帶品ニ非スト認ムヘキ物品ヲ携ヘ出門セントスル者アルトキハ出門證

ヲ檢査スヘシ

第十四條 晝夜ヲ通シ一時間半毎ニ校舎内外ヲ巡邏シ左ノ事項ニ注意スヘシ但

シ夜間ハ夜番時計ヲ携帶スヘシ

- 一、校地、校舎、垣、塙等ノ清潔法ノ良否及修繕ヲ要スル箇所ノ有無ニ注意シ殊ニ
便所、唾壺、芥溜ノ掃除ニ注意スルコト
- 一、汽罐室、瓦斯發生器、煖爐、生徒控所、職員食堂等ノ火ノ元ニ注意スルコト
- 一、水道、井戸及給水、排水ノ裝置等ノ破損ニ注意スルコト

- 一、放課後ハ殊ニ校門及各室ノ戸締ニ注意スルコト
- 一、構内ニ於テ校員ニ非サル者ヲ認メタルトキハ之ヲ問查スルコト
- 第十五條 各室閉鎖ノ後ハ其ノ鎖鑰ヲ宿直員ニ引繼クヘシ
- 第十六條 郵便函ハ配達ノ都度之ヲ開キ封書ハ之ヲ受付簿ニ記入シ庶務課又ハ宿直員ニ差出シ檢印ヲ受クヘシ
- 生徒ニ宛テタル書狀ハ同様ノ手續ニヨリ生徒課ニ差出スヘシ
- 第十七條 本章第十一條第十三條第十四條ニ規定セル任務執行ノ際不都合ト認メタルモノアルトキハ直ニ會計課又ハ宿直員ニ申告シ其ノ指揮ヲ受クヘシ
- 前項ノ次第ハ之ヲ守衛日誌ニ詳記スヘシ
- 第十八條 職員生徒等ニ面會ヲ請フモノ及參觀ヲ請フモノアルトキハ慇懃ニ受付ノ所在ヲ指示スヘシ
- 第三節 給仕
- 第十九條 給仕ノ勤務左ノ如シ
- 一、外來者ノ取次ヲナスコト

- 一、電話ノ取次ヲナスコト
- 一、他ヨリ使送スル文書ノ受付ヲナスコト
- 一、職員ノ召ニ應シ其ノ用ヲ辨スルコト
- 一、常ニ校長室、應接室又ハ所屬教官室等ノ窓戸ノ開閉、煙爐ノ燃ヘ方、煙草盆等ニ注意シ茶ヲ進ムル用意ヲ整ヘ置クコト
- 第二十條 給仕ハ殊ニ行儀作法ヲ正シクシ言語ヲ鄭重ニシ急用ノトキト雖モ屏ノ開閉、廊下ノ往來、階段ノ昇降等靜肅ヲ旨トシ敏速ニ用事ヲ辨スヘシ
- 第二十一條 用務ノ暇ニハ勉學スヘシ用事繁多ニシテ一人モ殘ラス詰所ヲ明クル場合ニハ小使ヲ呼ヒテ其ノ助力ヲ借ルコトヲ得

第四節 小使

- 第二十二條 小使ノ勤務左ノ如シ
- 一、校地、校舎ノ掃除及雪卸シノコト
- 一、校具洒掃ノコト
- 一、窓戸ノ開閉及戸締ノコト

- 一、水火並ニ湯ノ供給及取締ノコト
 - 一、右ノ外時々ノ命令ヲ奉スルコト
- 第二十三條 火ノ取扱ニハ最嚴密ニ注意シ苟モ疎漏ノ所爲アルハカラス

第十六章 職工規程

第一節 採用及監督

- 第一條 本校工場ノ業務ニ従事セシメンカ爲ニ職工ヲ置ク
- 第二條 職工ハ左ノ資格アル者ヨリ之ヲ採用ス
- 一、所要ノ技能ニ熟達セル者
 - 一、身體健全品行善良ノモノニテ米澤市内ニ確實ナル身元引受人ヲ有スル者
 - 一、年齢滿十七歳以上ノ者
 - 一、一ケ年以上勤続ノ誓約ヲ爲シ得ル者
- 第三條 前條ノ資格ハ關係教官及校醫ヲシテ本人ニツキ之ヲ審査セシム但シ遠方ニ在ル者ヲ採用セントスルトキハ信用スヘキ人ノ推薦狀、本人履歴及體格検査證等ニツキ詮議シ本文ノ例ニ據ラサルコトアルヘシ

第四條 職工ノ採用、解僱及給與等ニ關スル事務ハ會計課ニ於テ之ヲ處理セシム

第五條 職工ノ指揮監督及勤惰ノ調査ハ關係教官ヲシテ之ヲ擔當セシム

第六條 職工ノ業務ヲ補助セシメ兼ネテ技術ヲ練習セシムル爲ニ見習職工ヲ置クコトアルヘシ

第七條 見習職工ハ左ノ資格アル者ヨリ之ヲ採用ス

一、職工タラントスル志望確實ナル者

一、身體健全品行善良ノ者ニテ米澤市内ニ確實ナル身元引受人ヲ有スル者

一、年齢滿十二歳以上ニシテ尋常小學校卒業以上ノ學力ヲ有スル者

第八條 前條資格ノ審査ハ第三條ノ例ニ據ル

第九條 職工又ハ見習職工トシテ採用セラレタル者ハ本校ノ承認ヲ經タル身元引受人連署ヲ以テ誓約書(第一號書式)ヲ差出スヘシ

第十條 必要ト認ムルトキハ校醫ヲシテ職工及見習職工ノ身體検査ヲナサシムルコトアルヘシ

第二節 勤務心得

第十一條 職工及見習職工勤務ノ定時間ハ一日九時間トシ其ノ内一時間ヲ晝食及休憩ニ當ツ

第十二條 執業時間ノ始終ハ別ニ之ヲ定メ汽笛ヲ以テ報知ス

第十三條 毎朝出勤ノ際門鑑ヲ門衛ニ差出シ退出ノ際之ヲ受領スヘシ

第十四條 疾病或ハ已ムヲ得サル事故ノ爲メ缺勤セントスルトキハ事由ヲ詳記シ始業時限マテニ所屬教官ヲ經テ學校長ニ届出ツヘク又同様ノ事由ニヨリ終業時限前ニ退出セントスルトキハ所屬教官ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

病氣缺勤三日以上ニ涉ルトキハ届書ニ醫師ノ診斷書ヲ添ユヘク爾後一週間毎ニ同様ノ手續ヲナスヘシ

第十五條 定例ノ休日左ノ如シ

一、祝日、大祭日

二、日曜日

三、本校創立記念日六月一日

四、八月一日ヨリ十五日マテノ中一週間

一、十二月二十九日ヨリ翌年一月三日マテ

第十六條 業務ノ都合ニヨリ規定時間外又ハ定例ノ休日ニ執業ヲ命スルコトアルヘシ

第十七條 勤務中心得ヘキ要項左ノ如シ

一、長上ノ指揮ヲ受ケ忠實ニ所定ノ業務ニ従事スルコト

二、所屬教官ノ命ニ非サレハ何人ノ依頼ニモ一切應ス間敷コト

三、男工ハ洋服女工ハ筒袖着用ノコト但シ工場服ヲ規定セラレタル場合ニハソレヲ着用スルコト

四、來訪者ニ面會スルニハ休憩時間詰所ニ於テスルコト

五、喫煙晝食等ハ詰所ニ於テスルコト

第十八條 毎土曜日ノ午後ニハ定例ノ大掃除ヲ爲シ所屬教官ノ檢閲ヲ受ケテ後退場スヘシ

第十九條 普通携帶品ニ非サル物品ヲ校外ニ搬出セントスルトキハ所屬教官ヨリ出門證ヲ申受ケ之ヲ門衛ニ交付スヘシ

第二十條 風雨震災等非常ノ異變アルカ又ハ本校或ハ本校近傍ニ出火アルトキハ速ニ參校シ職員ノ指揮ニ從フヘシ

第三節 給 與

第二十一條 職工及見習職工ノ給料ハ日給トシ前日十六日ヨリ其ノ月十五日マテノ分ヲ纏メテ定日ニ之ヲ支給ス

第二十二條 新規備入ノ際ハ着任ノ當日ヨリ日給ヲ支給シ増給減給ハ翌日ヨリ改算シ解備或ハ死亡ノトキハ當日マテノ日給ヲ支給ス

第二十三條 疾病等ニヨリ遲參シ又ハ早退シタルトキハ其ノ時間ニ對シ日給ノ割合ヲ以テ減給シ午前六時前或ハ午後六時後ニ執業セシメタルトキハ其ノ時間ニ對シ日給ノ割合ニ五割ノ割増ヲ付シテ増給ス

第二十四條 左ノ場合ニハ日給ノ全額ヲ支給ス但シ第二項ノ場合ニ於テ休日ノ前若クハ後ニ缺勤シタル者又ハ第三項第四項及第五項ノ場合ニ於テ休日前後ニ各一日以上缺勤シタル者及休日ノ前若クハ後ニ三日以上缺勤シタル者ニハ

本文ノ日給ヲ支給セス

一、父母又ハ妻若クハ夫ノ忌中三日間

一、日曜日、祝日、大祭日、本校記念日

一、本校ヨリ二日以内ノ臨時休暇ヲ與ヘタルトキ

一、八月一日ヨリ十五日マテノ中定例ノ休日一週間

一、十二月二十九日ヨリ翌年一月三日マテ

第二十五條 本校ノ都合ニヨリ三日以上ノ臨時休暇ヲ命シタル場合ニハ詮議ノ上日給ノ半額乃至全額ヲ支給ス但シ該休日前後ニ各一日以上缺勤シタル者又ハ該休日ノ前若クハ後ニ三日以上缺勤シタル者ニハ本文ノ日給ヲ支給セス

第二十六條 軍籍ニ在ル者召集セラレタル時ハ召集中二箇月間ハ日給ノ三分ノ一ヲ給與シ其ノ後ハ之ヲ支給セス但シ本文ノ給與ハ本人歸任ノ上之ヲ支給スルモノトシ除隊後自己ノ都合ニヨリ歸任セサル者ニハ之ヲ給セス

第二十七條 傳染病豫防ノタメ交通ヲ遮斷セラレタル者若クハ本校ヨリ出勤ヲ差止メタル者又ハ不可抗力ノ災害ヲ蒙リ出勤シ得サル者ニハ詮議ノ上七日以

内日給ノ半額ヲ支給スルコトアルヘシ

第二十八條 執業中ニ負傷シ早退ノ許可ヲ受ケタル者ニハ當日ノ日給全額ヲ支給ス

第二十九條 執業中死傷シタル者ニハ詮議ノ上明治四十年勅令第百八十六號官役職工人夫扶助令ニ依リ相當ノ扶助料ヲ支給ス

第三十條 工場服ハ之ヲ支給若クハ貸與スルコトアルヘシ

第三十一條 校外ニ於テ執業ヲ命シタルトキハ詮議ノ上乗車賃宿泊料ヲ支給スルコトアルヘシ

第四節 賞 罰

第三十二條 賞與ノ詮議ハ年末ニ於テスルヲ定例トス

第三十三條 一年間ヲ通シテ缺勤及遲參早退ナク品行善良職務勉勵ノ者ニハ精勤證書(第二號書式)ヲ授與ス

前項ニヨリ引續キ二回以上精勤證書ヲ授與セラレタル者ニハ特別賞與金ヲ給與スルコトアルヘシ

第三十四條 平素品行善良職務勉勵成績佳良ノ者ニハ慰勞金ヲ給與スルコトアルヘシ

第三十五條 有益ナル機械工具ヲ發明若クハ製作シ又ハ便利ナル作業法ヲ案出シタル者ニハ詮議ノ上褒狀又ハ賞金ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十六條 平素誠實ニ勤務シタル者ノ退職スルトキハ其ノ在職年限及成績ヲ參案シ證明書(第三號書式)ヲ授與ス

第三十七條 左記ニ該當スル者ハ其ノ情狀ニヨリ譴責減給又ハ解備ニ處分ス但シ第二號ニ該當スル者ニハ其ノ損害ノ全部若クハ一部ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

一、規則命令ヲ遵守セサル者

一、故意又ハ怠慢ニヨリ器具、機械、材料等ヲ毀損又ハ亡失シタル者

附 則

第一條 本章ノ規程ハ明治四十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 臨時備入ノ職工ニハ本章ノ規程ヲ準用ス

第一號書式(用紙美濃)

三錢收
入印紙

誓約書

私儀今般御校職工(又ハ見習職工)ニ御採用相成候ニツキテハ御規則ヲ守リ御命令ニ遵ヒ誠實ニ職務ニ勉勵仕リ一箇年以上必ス勤續(見習職工ニハ括弧内者ク)可仕確ク誓約仕候也

年 月 日

現住所
本籍地

族稱(若クハ戸主トノ續柄)

何 某 印

右何某身元ノ儀拙者ニ於テ一切引受可申ハ勿論本人ヨリ御校ニ對シ御損害相懸ケ賠償ノ義務ヲ盡シ兼テ候節ハ拙者引受辦償可仕候仍テ保證如斯候也

年 月 日

現住所

本籍地

族稱職業

保證人 何 某 印

年 月 日 生

米澤高等工業學校長何某殿

第二號書式

精勤證書

職工(又ハ見習職工) 氏 名

右ハ既往何箇年間皆勤シ品行善良ニシテ職務ニ勉勵セリ仍テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

米澤高等工業學校

第三號書式

職工 氏 名

右者何年何月ヨリ何年何月マテ本校何々工場ニ在職シ成績佳良ナリ仍テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

米澤高等工業學校

第十七章 非常心得

第一條 本校失火ノ際ハ先ツ之ヲ發見セル者警報ヲ疾呼シツツ敏速ニ防火ノ手配ヲナスヘシ

本校消防ノ設備及配置左ノ如シ

- 一、消火器 (附録圖面ノ通)
- 二、玄蕃桶 (非常用具置場)
- 三、ボムブ (非常用具置場)

四、用 水 (構内井戸及用水路)

五、梯 子 (非常用具置場)

六、鳶 口 (非常用具置場)

七、運搬用具 (非常用具置場)

八、高張提灯 (非常用具置場)

九、提 灯 (職員宿直室)

十、蠟 燭 (職員宿直室)

第二條 容易ニ消火シ難キトキハ左ノ手配ヲナスヘシ

一、號鐘ヲ亂打シテ非常ヲ報スルコト

一、職員生徒諸備人ハ各受持ノ手配ニ從事スルコト

一、當直員ハ特ニ御眞影並ニ勅語ノ保安ニ注意スルコト

第三條 非常手配左ノ如シ

- 一、防火掛
- 二、運搬掛
- 三、警備掛

第四條 防火掛ハボムブ及消火器ヲ使用シ専ラ消防ニ從事スヘシ

第五條 運搬掛ハ職員ノ指圖ニ從ヒ倉庫若クハ安全ノ場所ニ校具ヲ運搬スヘシ其ノ心得左ノ如シ

- 一、非常持出品ト標記セル箱(事務室ニアリ)及火元最寄ノ物品ヲ先ニスルコト
- 一、書類及貴重品ヲ先ニシ圖書、機械、器具ニ及フコト

第六條 警備掛ハ左ノ手配ヲナスヘシ

- 一、高張提灯ヲ掲ケ諸門ヲ警戒スルコト
- 一、本校及官衙會社等ノ職員、警官、消防夫、本校備人、出入商人等ノ外ハ通門セシメサルコト

一、校門ヲ巡邏シテ盜難ヲ警戒スルコト

一、庶務課員ハ本校及官衙會社等ノ職員其ノ他駈付ケタル人ニ對シ應接ノ任

ニ當リ生徒課員ハ生徒ヲ點檢シ孰レモ氏名ヲ録シテ學校長ニ報告スルコト

一、學校長、課長、警察署、電燈會社等ニ急報スルコト

第七條 本校近火ノ際又ハ寄宿舎ノ失火近火ノ際ハ前各條ニ準シ必要ノ手配ヲナスヘシ

第八條 每學期一回生徒及備人ヲシテボムブノ使用其ノ他非常演習ヲナサシム
第九條 非常手配ノ部署ハ毎年四月之ヲ更ム

第七 職員

(大正三年八月末日現在)

學校長

兼特許局技師工學博士工學士 大竹 多氣 北海道士

幹事

教授 櫻井寅之助 岐阜平

教授

櫻井寅之助 岐阜平

修身

工學士 下山 秀久 埼玉士

機械

工學士 關 盛治 長野平

機械

理學士 山崎甚五郎 兵庫士

化學及分析

理學士 關本幸次郎 福島平

染色

理學士 伊東 茂 松山形士

數學

物理	理學士	橫飛私城高知平
英語	文學士	辻村鑑琦玉平
製圖	工學士	川井一岐阜士
化學及分析	理學士	川口正名東京平
色染	工學士	依田愿福井士
化學及分析	理學士	吉田土佐次郎佐賀平
英語	工學士	小川陽一大分士
化學及分析	工學士	秦逸三廣島平
紡績、機械	工學士	太田七郎京都士
機械	工學士	五十嵐道三千葉平
織物原料	山形縣立工業學校長	山根修鳥取士
製圖實習		秋山茂彦廣島士

講師

助教授

マスター・オプ・アーツ(米國アイオア州立大學)
バチエラー・オプ・アーツ(米國ヒルズデール大學)

色染實習	富永伊介茨城平
體操、柔道	渡部兵馬福島平
圖畫	角美則佐賀平
機械實習	水澤洞三新潟士
應用化學實習	野内成一茨城平
機械實習	吉田喜一愛知士
電氣工學	大和田藤七福島平
機械實習	山本千尋山形士

授業囑託

應用化學實習

工業簿記

體操

劍道

職員

教師

米澤市立商業學校教諭

陸軍歩兵大尉

鈴木新太郎靜岡平	山田俊作山形士
林嘉七岐阜平	
鹽野寛助山形平	

授業補助

應用化學 染色 應用化學 機械織 機械織 應用化學 物理 機械織 製色 色製 機械織 製

松井孝良 大阪平
 今村武雄 山形士
 高森庸雄 山形士
 祖山彌太郎 山形士
 根津欽哉 山形士
 宮野春之進 東京平
 平林幹長 野平
 鹿兒島忠雄 山形士
 矢島吉雄 山形士
 石丸周一 山形士
 堀内忠次郎 山形士
 青木明富 山形士
 松田信平 山形士

生徒監

科長及理事

色染科々長 色染科理事 紡織科々長 紡織科理事 應用化學科々長 應用化學科理事 機械科々長 機械科理事 物修身理

學科主任

職員

教授 櫻井寅之助 岐阜平
 教授 關本幸次郎 福島平
 助教授 富永伊介 茨城平
 教授 關盛治 長野平
 助教授 水澤洞三 新潟士
 教授 山崎甚五郎 兵庫士
 教授 川口正名 東京平
 教授 下山秀久 埼玉士
 教授 川井一 岐阜士
 教授 櫻井寅之助 岐阜平
 教授 橫飛私城 高知平

英 語 教 授 辻 村 鑑 琦 玉平
 數 學 教 授 伊 東 茂 松 山 形士
 圖 畫 助 教 授 角 美 則 佐 賀平
 體 操 助 教 授 渡 部 兵 馬 福 島平
 色 染 教 授 關 本 幸 次 郎 福 島平
 機 織 教 授 關 盛 治 長 野平
 應 用 化 學 教 授 關 盛 治 長 野平
 機 械 教 授 山 崎 甚 五 郎 兵 庫士
 庶 務 課 長 下 山 秀 久 琦 玉士
 課 長 小 森 德 四 郎 福 島平
 教 務 課 長 (兼) 廣 瀨 速 水 山 形士
 助 教 授 渡 部 兵 馬 福 島平
 書 記 松 坂 徹 山 形士

生 徒 課 長 (兼) 渡 部 兵 馬 福 島平
 助 教 授 松 坂 徹 山 形士
 書 記 上 倉 金 太 郎 山 形士
 會 計 課 長 石 川 武 三 郎 秋 田士
 書 記 永 井 亨 吉 山 形士
 雇 員 玉 木 源 七 山 形士
 雇 員 青 木 信 造 山 形士
 雇 員 島 田 美 彦 高 知平
 雇 員 高 橋 昌 義 山 形士
 圖 書 課 長 辻 村 鑑 琦 玉平
 教 授 五十 嵐 三 郎 山 形士
 書 記 五十 嵐 三 郎 山 形士

學校醫

楠川良策 山形士
高橋達之助 山形士

第八 生徒及卒業生 (大正三年五月末日調)

一 生徒數

本科

學科	學年			合計
	第三學年	第二學年	第一學年	
色染科	六	四	五	一五
紡織科	一四	一四	一八	四六
應用化學科	一八	一三	二一	五二
機械科	一	一九	二六	四五
合計	三八	五〇	七〇	一五八

選科

學科	合計	
	色染科	紡織科
合計	二	一
	三	

二 生徒氏名

本科

色染科

第三學年

山形米澤中

大橋

亘山形士

東京日本中

渡邊

英七 宮城平

福島工

片桐

一良 福島平

山形米澤中

立岩

幸介 山形士

山形米澤中

夏井

範永 山形士

福島福島中

寺田

吉治 福島士

山形米澤中

土佐林忠雄

山形士

栃木真岡中

小倉庄七郎

栃木平

生徒氏名

福島安敬中

舟橋辰彌 福島平

埼玉浦和中

指田律 埼玉平

第一學年

香川大川中

井上敬一 香川平

宮崎宮崎中

長友八郎 宮崎士

山形米澤中

佐藤重德 山形士

群馬織物

本島角太郎 群馬平

山形山形中

鈴木倉次 山形平

紡績科

第三學年

長野飯山中

市村融 長野平

福島福島中

今泉虎男 山形士

福島工

馬場高造 福島平

山形山形中

常世正義 山形士

群馬太田中

岡田清八 群馬平

栃木宇都宮中

吉原一 栃木平

長野松本中

田中輝意 富山平

千葉佐倉中

塚越司 千葉平

茨城太田中

子守安之 兵庫士

山形工

齋藤源三 山形平

山梨甲府中

目良丘 千葉平

山形米澤中

遠藤長德 山形士

山形山形中

森田實 山形平

山形工

茂木誠三 山形士

第二學年

宮城仙臺第一中

市川始 山形士

山形工

新國勝雄 山形士

福井福井中

大木久二 福井平

秋田秋田中

帶周喜治 秋田平

山形米澤中

上杉勝政 山形士

岩手盛岡中

山口一郎 東京平

栃木工

福田幸四郎 栃木平

秋田横手中

國分胤英 秋田士

山形工

秋山卓爾 山形士

山形米澤中

澤慶助 山形士

山形米澤中

澤恭助 山形平

山形米澤中

佐藤多喜衛 山形士

山形米澤中

森谷源次郎 山形平

群馬太田中

榎山琴次郎 群馬平

第一學年

愛知第四中

岩瀬七良 愛知平

山形米澤中

新野他次郎 山形士

茨城太田中

河井泉 茨城平

廣島修道中

吉田豐一 廣島平

東京京北中

高橋芳雄 東京平

山形米澤中

河村沢郎 山形士

群馬前橋中

民野清六 群馬士

山形米澤中

永井才助 山形士

三重第二中

宇佐美芳介 三重士

石川金澤第一中

松原之茂 石川士

生徒氏名

新潟高田中	阿部隆治	新潟平	山形山形中	渥美重信	山形士
山形工	齊藤翠	山形平	兵庫豐岡中	北幸次	兵庫平
長野上田中	樋口真平	山形士	山形米澤中	瀬原田義雄	山形士
福島磐城中	須藤三郎	山形平	富山富山中	杉林喜三郎	富山平

應用化學科

第三學年

東京第一中	井上信雄	東京平	宮城角田中	石井正	宮城平
東京第四中	服部誠治	福島士	山形米澤中	沼田育助	山形士
山形米澤中	大河原速登	山形士	山形米澤中	渡邊俊藏	山形士
東京成城中	田中元治	東京平	山形米澤中	瀧澤潔	山形士
山形米澤中	窪島誠二	山形士	香川大川中	熊野義彦	香川平
埼玉熊谷中	矢部三郎	埼玉平	東京豐山中	松川堅	埼玉平
山形米澤中	深澤忠松	山形士	東京早稻田中	普賢寺鼎三	和歌山士
山形米澤中	佐藤鎮雄	山形中	三重工	北村丘	三重平

山口徳山中	椎木優祐	山口平	宮城仙臺第一中	島崎秀松	宮城平
-------	------	-----	---------	------	-----

第二學年

茨城太田中	萩谷大藏	茨城平	愛知名古屋中	星野耕三	愛知平
栃木真岡中	豊田卯八	栃木平	宮城仙臺第一中	高橋豊	宮城平
長崎中島玖島	田崎健治	長崎平	山形米澤中	椿庸夫	山形士
新潟柏崎中	長野卯一郎	新潟士	東京麻布中	中島國平	東京平
栃木宇都宮中	毛塚巖	栃木士	東京京華中	志賀悠	東京平
宮城佐沼中	遠藤虎五郎	宮城平	京都第二中	物部靖一	京都平
青森青森中	茂木幹	秋田士			
第一學年					
高知中學海南	今政茂躬	高知士	京都第四中	西田保治	京都平
廣島修道中	近末實義	廣島平	島根濱田中	大谷文太郎	島根平
高知第二中	大野野宏	高知平	山形米澤中	渡部良亮	山形士
東京第一中	笠原信幸	東京平	鳥取米子中	吉田四郎	鳥取士

生徒氏名

京都京都市	久保寬治	滋賀平	東京麻布中	久保田英夫	長野平
静岡掛川中	栗田寅十	静岡岡平	東京明治學院	松岡正久	香川士
埼玉熊谷中	小林勇三	埼玉平	山形米澤中	古藤禮記	山形士
宮城東北中	相原美哉	山形平	山形米澤中	佐藤誠一	山形士
佐賀佐賀中	下村秀雄	佐賀平	東京第四中	平岩規矩	東京士
東京第一中	須田三喜夫	東京平	山形米澤中	鈴木	山形士
山形山形中	鈴木房次郎	山形平			
機械科					
第二學年					
北海道小樽中	石山信一	北海道平	三重第二中	服部盛道	三重平
福島相馬中	林	福島平	山形新莊中	上村辰雄	山形士
福島福島中	田旗直吉	福島平	大阪茨城中	谷田郁太郎	大阪平
山形米澤中	村山亨吉	山形士	福島磐城中	九里孫太	福島士
東京第二中	山本誠之	長野平	東京日本中	松本利信	神奈川士

第一學年

埼玉川越中	松本寬一	埼玉士	群馬太田中	增田新作	群馬平
山形米澤中	普後榮吉	山形士	山形米澤中	安部譽雄	山形平
山形米澤中	安部武夫	山形士	山形工	荒木止戈	山形平
山形米澤中	佐藤清藏	山形士	鳥取鳥取中	三村善之亮	鳥取平
福島福島中	杉浦昌壽	静岡士			
第一學年					
東京第二中	井瀧彦三	東京平	山形米澤中	小澤雄造	山形士
新潟高田中	横山角次	新潟平	栃木宇都宮中	高瀬榮柄	木平
茨城水戸中	武石勝	茨城平	東京大成中	中村猛雄	愛知平
山形米澤中	中澤三郎	山形士	東京第四中	長崎正彦	鹿兒島士
茨城太田中	野上定之介	茨城平	山形米澤中	黒井哲介	山形士
茨城下妻中	古澤金四郎	茨城平	茨城水戸中	小松崎善太郎	茨城平
埼玉浦和中	小茂鳥豊三	埼玉平	秋田秋田中	相浦市郎	秋田平
福島福島中	吾妻辰也	福島平	福島安積中	荒井信隆	山形士

生徒氏名

米澤高等工業學校一覽

鳥取島取中	秋本光正	島取士	福島相馬中	佐藤信雄	福島平
茨城水戸中	佐治静夫	茨城平	山形米澤中	櫻井克己	山形士
山形米澤中	北目繁次	山形士	福島相馬中	目黒斌	福島平
新潟有恒學舎	宮腰修治	新潟平	山形米澤中	平山茂	山形平
三重第二中	須藤静吾	三重士	東京第一中	鈴木鋼	一東京士
石川金澤第一中	小泉好一	長野平	宮城仙臺第二	田代幸吉	宮城平
岡山閑谷中	奥田馨	東京平			

第三學年	最	高	最	低	平	均
	二五、	二	二〇、	二	二一、	七

三 生徒年 齡

選 科	機 械 科	應 用 化 學 科			紡 織 科			色 染 科	
		第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年
紡織科	色染科	二四、	二四、	二五、	二五、	二四、	二五、	二一、	二二、
二八、	二五、	二四、	二四、	二五、	二五、	二四、	二一、	二二、	二二、
一	一	八	七	一	一	一	一	一	八
二八、	二一、	一七、	一八、	二〇、	一九、	一九、	二〇、	二〇、	二〇、
一	九	一	五	八	一	七	〇	七	七
二八、	二三、	二〇、	二〇、	二二、	二二、	二二、	二〇、	二一、	二一、
一	五	八	九	〇	六	五	九	七	八

(備考) 本表ノ平均ハ最高最低ノ平均ニアラスシテ總數ノ平均ナリ

生 徒 生 徒 年 齡

四、生徒在籍地道府縣別

道府縣	學科	色染科	紡織科	應用化學科	機械科	選科	計
北海道				一	一		二
東北府				六	二		一
東京府				二			二
京都府				二			二
大阪府				二	一		三
神奈川縣				八	一		九
兵庫縣				二			二
長崎縣				一			一
新潟縣				一	二		三
埼玉縣				三	二		五
群馬縣				一	一		二
千葉縣				八			八
計				二六	七		三三

生徒在籍地道府縣別

道府縣	學科	色染科	紡織科	應用化學科	機械科	選科	計
茨城縣					五		五
栃木縣				二	一		三
三重縣				一	二		三
愛知縣				一	一		二
靜岡縣				一	一		二
滋賀縣				一			一
長野縣				一			一
宮城縣				四			四
福島縣				一	六		七
山形縣		六		一	四		一一
秋田縣				一	四		五
福井縣					一		一
石川縣							一
計				二六	七		三三

出身學校	色染科	紡織科	應用化學科	機械科	選科	計
富山縣		二				二
島根縣			一			一
鳥取縣			一	二		三
廣島縣		二	一			三
山口縣			一			一
和歌山縣			一			一
香川縣	一		二			三
高知縣			二			二
佐賀縣			一			一
宮崎縣	一					一
鹿兒島縣				一		一
合計	一五	四六	五二	四五	三	一六一

五、生徒出身學校別

出身學校	色染科	紡織科	應用化學科	機械科	選科	計
北海道廳立小樽中學校				一		一
東京府立第一中學校			三	二		五
同 第二中學校				一		一
同 第四中學校			二	一		三
東京私立明治學院			一			一
同 京華中學校			一			一
同 日本中學校	一			一		二
同 早稻田中學校			一			一
同 麻布中學校			二			二
同 豐山中學校			一			一
同 大成中學校				一		一
同 成城中學校			一			一

生徒出身學校別

米澤高等工業學校一覽

同 京北中學校																			
京都府立第二中學校																			
同 第四中學校																			
同 私立京都中學校																			
大阪府立茨城中學校																			
兵庫縣立豐岡中學校																			
長崎縣立中學 玖島學館																			
新潟縣立高田中學校																			
同 柏崎中學校																			
同 私立有恒學舍																			
埼玉縣立熊谷中學校																			
同 川越中學校																			
同 浦和中學校																			

群馬縣立前橋中學校																			
同 太田中學校																			
同 織物學校																			
千葉縣立佐倉中學校																			
茨城縣立水戸中學校																			
同 太田中學校																			
同 下妻中學校																			
栃木縣立真岡中學校																			
同 宇都宮中學校																			
同 工業學校																			
三重縣立第二中學校																			
同 工業學校																			
靜岡縣立掛川中學校																			

生徒出身學校別

米澤高等工業學校一覽

富山縣立富山中學校																一
鳥取縣立鳥取中學校																二
同 米子中學校																一
島根縣立濱田中學校																一
岡山縣立閑谷中學校															一	一
廣島私立修道中學校																二
山口縣立德山中學校																一
香川縣立大川中學校																二
高知縣立第二中學校																一
同 中學海南學校																一
佐賀縣立佐賀中學校																一
宮崎縣立宮崎中學校																一
合計	一五	四六	五二	四五	三	一六一										

六 卒業生

大正二年七月卒業（第一回）

色染科（二名）

横濱市出口染工場

紡織科（八名）

和歌山織布株式會社

東京モスリン紡績株式會社

東京製絨株式會社

大阪合同紡績株式會社住吉支店

大阪市内外棉株式會社

兵庫縣日本毛織株式會社

群馬縣飯塚機工場

鐘淵紡績株式會社兵庫支店

應用化學科（十八名）

柴田惣治郎 秋田平

半野貞義 福島平

鹿兒島信雄 山形士

武藤仁 山形士

村山精助 山形士

玄半兵衛 大阪平

後藤幹一 山形士

坂口貞助 山形士

志賀駒吉 新潟平

臺南製糖株式會社

兵 役

熊本縣日本窒素肥料株式會社鏡工場

兵 役

京都府立第五中學校

神戶稅關

兵 役

明治製糖株式會社川崎工場

兵 役

兵庫縣旭硝子株式會社

日本石油株式會社直江津製油所

生野鑛山

石 田 修 奈 頁 士

小 木 直 四 郎 石 川 士

谷 口 忠 一 郎 秋 田 平

松 井 眞 福 島 平

田 村 義 固 島 取 士

武 田 善 助 山 形 平

中 西 廣 治 山 形 平

中 山 庫 雄 山 形 士

內 田 傳 一 山 形 士

安 井 信 彦 宮 城 士

船 越 致 水 三 重 士

青 木 佐 吉 山 形 平

佐 藤 信 輝 新 潟 平

佐 々 木 德 信 埼 玉 士

北海道富士製紙株式會社第五工場

同

京都帝國大學理工料大學化學教室

東京日本醋酸製造株式會社

大正三年三月卒業 (第二回)

色 染 科 (五名)

和歌山第一綿ネル株式會社

横濱ハーブ・アール・レンス繼續社

兩毛染色株式會社

帝國製麻株式會社大阪製品工場

紡 織 科 (十名)

鐘淵紡績株式會社兵庫支店

大分紡績株式會社

生 徒 卒 業 生

三 好 昌 康 東 京 士

鈴 木 謙 次 山 形 平

光 田 貞 七 北 海 道 平

下 垣 善 雄 山 形 士

加 藤 正 雄 山 形 士

村 松 茂 青 森 士

大 高 愿 福 島 平

丸 山 清 男 山 形 士

森 滋 茨 城 士

川 瀬 榮 一 兵 庫 平

中 島 道 一 東 京 平

米澤高等工業學校一覽

上野モスリン株式會社

米澤高等工業學校

東洋紡績株式會社知多分工場

富士瓦斯紡績株式會社小山工場

大阪谷口綿布株式會社

上毛モスリン株式會社

應用化學科 (十四名)

農商務省工業試驗所

京都瓦斯株式會社島原分工場

日本ベイント製造株式會社

富士製紙株式會社第二工場

漆山亮助山形平

植木幹一大分平

山本千尋山形士

山本薰三重平

三浦季治秋田平

柴田鈴正愛知平

廣居直治山形士

平田政記山形士

林重吉岐阜平

土肥秀雄山形士

岡村質福岡士

岡野喜兵衛埼玉平

渡邊鏡二郎愛知平

陸軍省岩鼻火藥製造所
土佐紙株式會社
海軍造兵廠

東京、エスエ商會

農商務省工業試驗所
七 卒業者就職別 (大正三年六月三十日現在)

塚本義郎 靜岡平
長島一 靜岡平
中村不二夫 群馬平
栗林資郎 山形士
楠川勉 山形平
船越正一 秋田士
齋藤信之 山形士
三神敏賢 山梨平
廣瀬正雄 山形士

種別	色染科	紡織料	應用化學科	計
高等工業學校教員			一	一
中學校教員			一	一
技術官吏			六	六

會計	未定	兵役	會社技術員
六	一		五
一八	二		一五
三三二	七	四	一四
五六	一〇	四	三四

第九 敷地建物

一 建物表

名	稱	種	類	棟	數	坪	數
教室及事務室		木造二階及平家建			一	三九五、〇〇〇	
應用化學科教室		木造平家建			一	一七二、五〇〇	
器械器具及化學實驗室地下藥品室		同			一	六〇、〇〇〇	
化學分析室		同			一	一二六、〇〇〇	
機械科教室		同			一	一七五、〇〇〇	
色染科乾燥室		同			一	一〇、〇〇〇	

色染科實習室		同			一	二七〇、〇〇〇	
同上		同			一	六、〇〇〇	
紡績科實習室		同			二	二八六、〇〇〇	
染織科教室		同			一	一六八、〇〇〇	
同附屬汽罐室		煉瓦造平家建			一	二〇、〇〇〇	
汽罐室附屬煙筒		鐵製			一基		
講堂圖書閱覽室及附屬室		木造二階及平家建			二	一四八、三〇〇	
書庫		煉瓦造二階建			一	一二、〇〇〇	
原動機室		同平家建			一	九六、〇〇〇	
同附屬煙筒		鐵製			一基		
實驗工場及材料室		木造平家建			一	一三八、〇〇〇	
鍛工、鑄工、仕上、木工場		同			一	二三四、〇〇〇	
材料室及燃料置場		同			一	三〇、〇〇〇	

敷地建物 建物表

敷地建物 建物表

排水管布設	生徒控所兼雨天體操場	小使室及湯呑所	門番所	供待所	體操用具置場及柔道室	燃料置場	非常用具置場	生徒昇降口	材料室	小使室	硫化水素室	原動機室
土鉛管	木造平家建	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一五二呎 四七間	一	一	一	一	一	二	一	一	三	一	一	二
	九六、〇〇〇	三五、〇〇〇	八、〇〇〇	七、五〇〇	二四、〇〇〇	二一、〇〇〇	六、〇〇〇	一〇、五〇〇	二五、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇	一六、七五〇

米澤高等工業學校一覽

暗室	洗手所	倉庫	給水管	鐵管	鉛管	水口栓類	油瓦斯發生機	附屬煙突	塔	發生機室	瓦斯管	火口栓
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
一	一	一	四、四一三呎 一八七〇呎 一四九間 三九間	九二九呎 一七三呎	七九個	一組	二基	一	二、〇三五呎 三六五呎	一一一個		
六、〇〇〇	六、〇〇〇	二四、〇〇〇										

砂利敷	綠丸石付	丸石下水附道路	同溜樹	同埋込土管下水	排水水路	排水水路	砂石積水路	綠石付煉瓦積水路	周圍境界鐵柵及土壘木柵	門	井	渡廊	便所
綠丸石据	同	長延	煉瓦造り綠石及鐵蓋付	同	同	同	同	長延	鐵柵(土壘木柵共)	石	木	同	同
										造	造		
四、〇二〇尺	四二〇尺	一、七三七尺	三十三ヶ所	三、一九八尺	三、五七六尺	七九四尺	一三四尺	四五六間	七八間	二二	二	一九	五
						石橋四ヶ所付						二〇三、七五〇	三八、五〇〇

計

第十圖書

(大正三年六月三十日現在)

一 圖書類別表

類別	項目	冊數	一枚數	軸數	價	冊數	一枚數	軸數	價
第一類	數學	100			四七、七〇〇	43			三五、三三〇
第二類	物理學	110			六七、九九〇	48			五八、〇二〇
第三類	化學	464		48	三四七、七八〇	71			九九、四四〇
第四類	電氣工學	36			二六、九九〇	27			二七、100
第五類	機械工學	288			一一三、一七〇	65			五三、四二〇
第六類	織物、原料、紡績、機械	289		30	一一三、〇〇〇	86			三三、七三〇
第七類	色染、捺染、仕上	193			九四三、四九〇	28			一一七、三三〇

米澤高等工業學校一覽

第八類	建築學、土木工學、探礦學	七			三四,〇〇〇	二三		一八,四九〇
第九類	工業圖案、美術、音樂、體育	五			五九七,六五〇	一七八		三二七,九四〇
第十類	博物學、醫學、衛生學	七			二六,七五〇	一八		三三,三五〇
第十一類	文學	三二			三五六,一五〇	三三八		三三三,三〇〇
第十二類	歷史、地理、傳記、旅行	五			二八,六五〇	一七三	一三	二七五,八五五
第十三類	教育、哲學、宗教	五			三七,八九〇	二〇六	二	一八七,〇三五
第十四類	法律、政治、社會學	三			一四,七五〇	八六		六三,一七〇
第十五類	商業、農工業、經濟	四			一一,二五〇	二六	二	七九,九六〇
第十六類	辭書、百科辭典	一四			五八六,九三〇	四四		一九八,二〇〇
第十七類	雜	四			三五,六三〇	一〇七		一六三,七七〇
特類(A)	中學校教科書類	四			一〇,四九〇	一七六		六四,八八〇
合計		二,三八	七	九,八六七,八五〇	一,七四一	一五	三	一九四,八〇〇
內譯		一,八五五	六	九,八六七,八五〇	一,四三八	一五	三	一九四,八〇〇
寄附		二八三	一		三〇三		二	
買入總價格								一一,八〇三,六五〇

一八四

買入總價格
二 雜誌統計表

種別	項目	洋		和		
		冊數	合本冊數	冊數	合本冊數	
買入		二,六六九	九六	四,五七七	五三	
寄附		二九四	二六	二,七四〇	三三五	
合計		二,九六三	一二二	七,三一七	三八八	
買入總價格						一,一〇〇,七〇五

一一,八〇三,六五〇

第十一 寄贈 (自大正二年六月至大正三年六月)

一 圖書

The Bulletin of the Central Meteorological Observation,
Vol. II. No. 1. II. 2 冊
Baker, J. T. Ten Thousand Words, How to Pronounce Them.
寄贈圖書

中央氣象臺

一八五